

予防医学委員会報告

(人間ドックの現況)

平成16年3月現在

社団法人 日本病院会

はじめに

人間ドックが我が国に誕生して、50年を経ています。その間に人間ドックの形式も交通機関の発達と同様にスピード化が進み、一週間から一泊二日の入院コースへ、更には総合健診と言われる一日コースが普及している現況です。

日本病院会・予防医学委員会は、1959年（昭和34年）に一泊二日の短期人間ドックが発足以来、優良施設の指定と共にその利用状況を調査し、毎年発表してまいりました。

第26回日本人間ドック学会（1985年）の宿題報告を契機として、人間ドック検査成績についても全国調査の必要性が認識されるようになりました。その後、毎年日本人間ドック学会の際に予防医学委員会より報告が行われ、20年目の節目を迎えました。

全国集計の内容は日本病院会雑誌並びに日本人間ドック学会誌「健康医学」に掲載し、学会員及び優良指定病院長並びに施設長に配布しております。

このたび、第45回日本人間ドック学会の際に、人間ドック実施状況調査とともに全国集計成績の要点を抜粋して『予防医学委員会報告（人間ドックの現況）』を作製し、ご希望の方々に広く配布することにいたしました。

なお、一泊人間ドック指定病院で行われている一日コースのドックが急増したので、1997年4月より日本病院会では人間ドックの名称を下記のとおりに変更いたしました。

一泊人間ドック

一日病院外来ドック

一日人間ドック（総合健診）

集計にあたっては、従来は一泊人間ドックの中に一日病院外来ドックを含めていましたが、1998年より外来ドックを区別し、総合健診およびその他の人間ドックとあわせて4種類に分類して集計を行っています。

また、1999年より人間ドック認定指定医制度が発足し、その後本学会の正会員が急増しています。その影響のためか、今回も全国調査資料の返信率は96%で、対象の人間ドック受診者数も前年より約27万人増えて311万人に達しています。

本資料が、各病院・施設の健康機能評価の一環としてご利用いただき、人間ドックの質的向上に役立つことを期待しております。

（注）2004年9月より、人間ドックの名称が一日ドック、二日ドック、三日以上ドックに変更となります。

日本病院会

人間ドック指定病院・施設の現況

1. 日本病院会 人間ドック指定病院および指定施設（平成16年1月現在）

都道府県別一覧表

	一泊	一日		一泊	一日		一泊	一日
北海道	9	8	石川県	10	1	岡山県	15	5
青森県	6	1	福井県	5	1	広島県	16	8
岩手県	6	1	山梨県	6	1	山口県	16	2
宮城県	5	7	長野県	13	0	徳島県	3	1
秋田県	6	1	岐阜県	8	4	香川県	4	3
山形県	2	0	静岡県	28	13	愛媛県	8	0
福島県	15	1	愛知県	17	14	高知県	3	3
茨城県	17	9	三重県	9	3	福岡県	44	15
栃木県	11	2	滋賀県	11	2	佐賀県	1	0
群馬県	20	2	京都府	28	8	長崎県	2	1
埼玉県	15	9	大阪府	29	34	熊本県	6	3
千葉県	40	9	兵庫県	26	5	大分県	0	4
東京都	84	72	奈良県	2	0	宮崎県	4	0
神奈川県	42	24	和歌山県	3	0	鹿児島県	3	1
新潟県	21	10	鳥取県	2	0	沖縄県	2	2
富山県	2	1	島根県	3	1	計	628	292

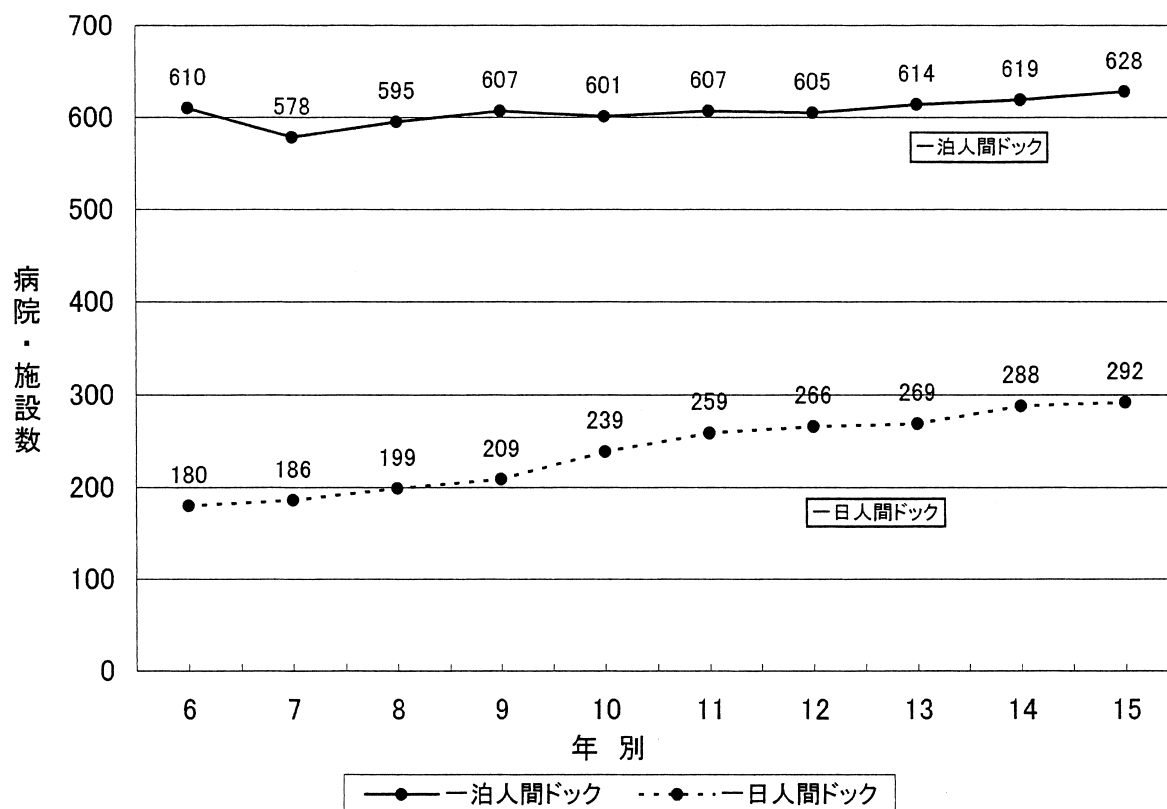
合計 一泊人間ドック指定病院数 628病院
 一日人間ドック指定施設数 292施設

- 注 ①一泊人間ドック指定病院中，新病棟建築中ならびに医師，看護師不足などの事由により一時休止病院9病院が含まれている。
- ②一泊人間ドック指定病床数は，2,292床である。
- ③一泊人間ドック新指定病院 13病院
 一泊人間ドック指定辞退病院 4病院
 ※3年毎に行う日病・健保連との指定見直しにより指定取り消し病院を含む。
- ④一日人間ドック新指定施設 7施設
- ⑤一日人間ドック指定辞退施設 3施設

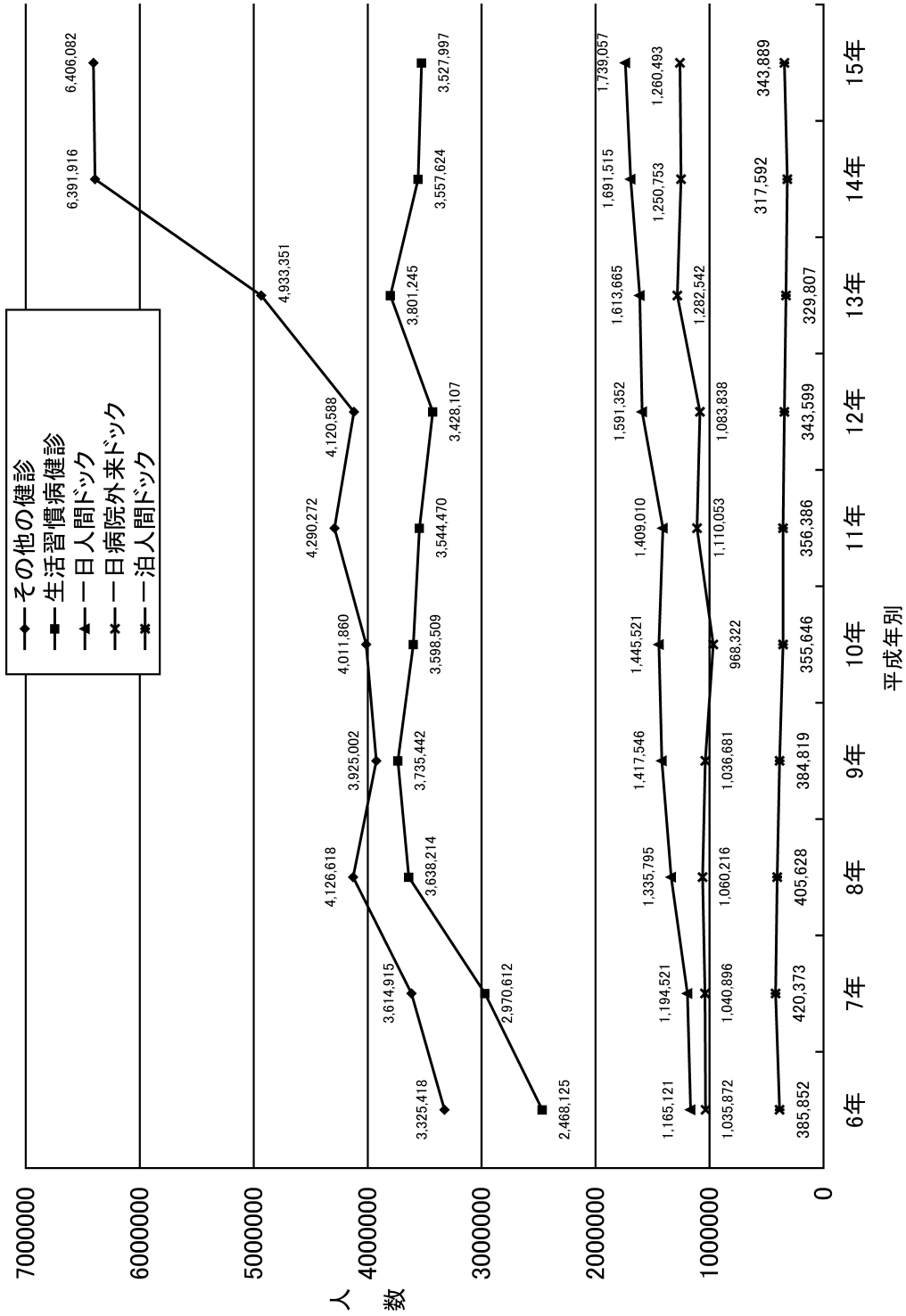
2. 人間ドック指定病院・施設 経営主体別一覧 (2003年)

開設別	ドック別 一泊		ドック別 一日		開設別	ドック別 一泊		ドック別 一日	
	病院数	%	施設数	%		病院数	%	施設数	%
国 (厚生労働省)	2	0.3	0	0.0	厚生団	3	0.5	1	0.3
国 (文部科学省)	0	0.0	0	0.0	船保会	3	0.5	3	1.0
国 (労働福祉事業団)	2	0.3	1	0.3	健保及び連合	7	1.1	3	1.0
その他公的	0	0.0	0	0.0	共済及び連合	15	2.4	4	1.4
国 (その他)	3	0.5	7	2.4	国保組合	0	0.0	0	0.0
都道府県	9	1.4	1	0.3	公益法人	56	8.9	88	30.1
市町村	52	8.3	5	1.7	医療法人	299	47.6	119	40.8
日 赤	42	6.7	3	1.0	学校法人	7	1.1	9	3.1
済生会	29	4.6	6	2.1	会 社	8	1.3	4	1.4
北海道社会事業協会	0	0.0	0	0.0	その他法人	20	3.2	10	3.4
厚生連	31	4.9	7	2.4	個 人	17	2.7	17	5.8
国保連	0	0.0	0	0.0					
全社連	23	3.7	4	1.4	合 計	628	100.0	292	100.0

3. 最近10年間の一泊人間ドック指定病院, 一日人間ドック指定施設推移



4. 最近10年間の各種人間ドック・健診受診者数の推移



5. 人間ドック実施状況調査（平成15年1月1日から12月31日）

日本病院会会員約2,800の病院・施設に対しアンケート提出を求めたが、報告提出は一泊人間ドック603病院と一日人間ドック283施設であった。

○一泊人間ドック実施病院 1,141〔日病指定（健保連契約）628〕

○一日人間ドック実施施設 283〔日病指定（健保連契約）292〕

(1) 日病会指定病院における各種人間ドック受診者報告603病院（前年611）

（8病院↓）

（単位：人数）

種 別		利用者数	受診者数（平成15年1月～12月）			平成14年1月～12月
			男 性	女 性	計	計
一泊人間 ドック	総 数		209,697 (1,781↑)	80,345 (3,798↑)	290,042 (5,579↑)	284,463
	健保組合員数 (総数より再掲)		80,285 (38.3%)	29,756 (37.0%)	110,041 (37.9%)	106,649
一日病院外来ドック			476,772 (77,429↓)	303,267 (40,821↓)	780,039 (118,250↓)	898,289
(3日～7日)入院ドック			6,349 (1,794↑)	3,237 (573↑)	9,586 (2,367↑)	7,219
合 計			692,818 (73,854↓)	386,849 (36,450↓)	1,079,667 (110,304↓)	1,189,971
生活習慣病健診			1,984,408 (62,584↓)	1,098,789 (61,286↓)	3,083,197 (123,870↓)	3,207,067
その他の健診			3,183,549 (8,564↑)	2,582,741 (107,665↓)	5,766,290 (99,101↓)	5,865,391

(2) 日病会指定病院における一日人間ドック受診者報告283施設（前年280）

（3施設↑）

（単位：人数）

種 別		利用者数	受診者数（平成15年1月～12月）			平成14年1月～12月
			男 性	女 性	計	計
一日人間 ドック 指定施設 の み	総 数		1,088,983 (36,341↑)	650,074 (11,201↑)	1,739,057 (47,542↑)	1,691,515
	健保組合員数 (総数より再掲)		527,637 (48.5%)	281,750 (43.3%)	809,387 (46.5%)	849,533

(3) その他日病会員病院における各種人間ドックの受診者報告538病院（前年399）
（単位：人数）

種 別	利用者数	受診者数（平成15年1月～12月）			平成14年1月～12月
		男 性	女 性	計	計
一泊人間 ドック	総 数	38,437 (13,523↑)	15,410 (7,195↑)	53,847 (20,718↑)	33,129
	健保組合員数 (総数より再掲)	13,921 (36.2%)	6,796 (44.1%)	20,717 (38.5%)	7,450
一日病院外来ドック		299,754 (76,617↑)	180,700 (51,373↑)	480,454 (127,990↑)	352,464
(3日～7日)入院ドック		7,588 (6,883↑)	2,330 (2,130↑)	9,918 (9,013↑)	905
合 計		345,779 (97,023↑)	198,440 (60,698↑)	544,219 (157,721↑)	386,498
生活習慣病健診		273,647 (57,797↑)	171,153 (36,446↑)	444,800 (94,243↑)	350,557
そ の 他 の 健 診		377,476 (63,968↑)	262,316 (49,299↑)	639,792 (113,267↑)	526,525

6. 人間ドック項目別成績調査の回答状況

(1) 一泊人間ドック実施病院のアンケート返信数（2003年） —地域別比較—

ブ ロ ッ ク	指定病院数	返 信 数	%
北 海 道	9	9 (1)	100.0
東 北	40	38 (1)	95.0
関 東 ・ 甲 信 越	269	258 (30)	95.9
東 海 ・ 北 陸	79	73 (9)	92.4
近 畿	99	99 (13)	100.0
中 国 ・ 四 国	70	66 (4)	94.3
九 州 ・ 沖 縄	62	60 (5)	96.8
計	628 +9	603 -8	96.0 -2.7

(注) ① ±は前年との実数または比率の差

(注) ② () 内の数値は一日人間ドックと重複した病院数

(2) 一日人間ドック実施施設のアンケート返信数（2002年） —地域別比較—

ブ ロ ッ ク	指定施設数	返 信 数	%
北 海 道	8	8 (1)	100.0
東 北	11	11 (1)	100.0
関 東 ・ 甲 信 越	138	132 (30)	95.7
東 海 ・ 北 陸	37	37 (9)	100.0
近 畿	49	49 (13)	100.0
中 国 ・ 四 国	23	21 (4)	91.3
九 州 ・ 沖 縄	26	25 (5)	96.2
計	292 +4	283 +3	96.9 -0.3

(注) ① ±は前年との実数または比率の差

(注) ② () 内の数値は一泊人間ドックと重複した施設数

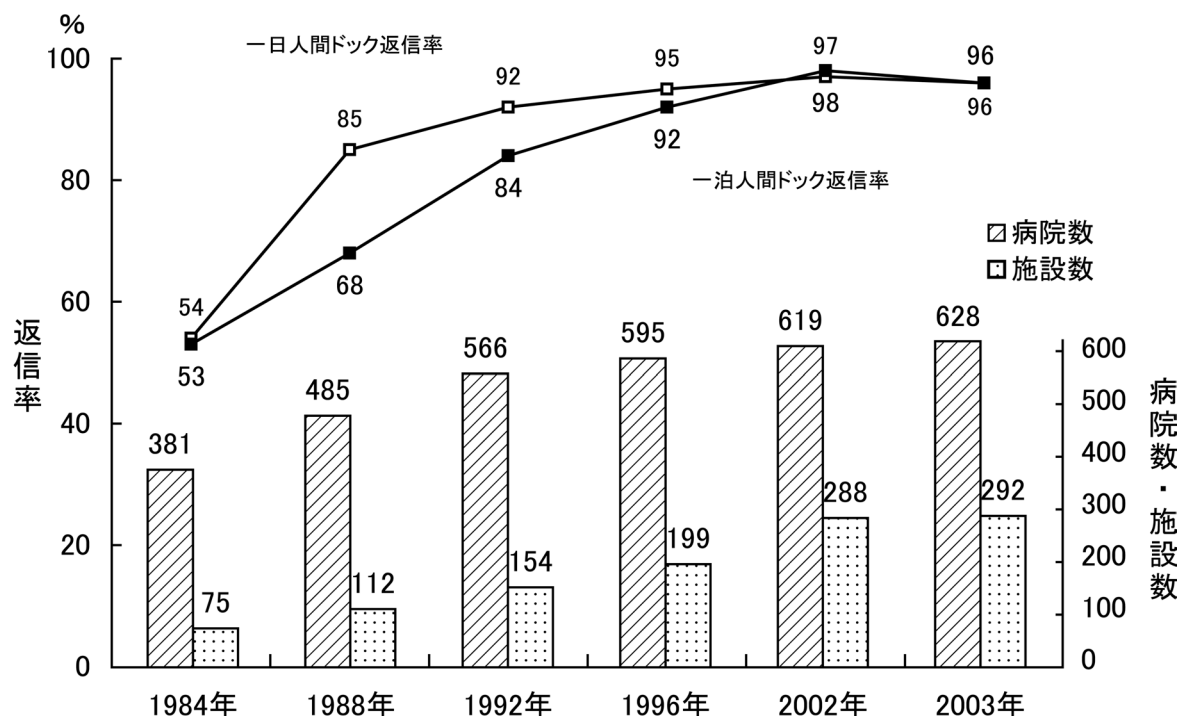
(3) 施設別・アンケート返信内容の比較 (2003年)

		総 数	項目別統計返信数	%	癌症例統計 返信数	%
一泊	指定病院	628	603	96.0	476	75.8
一日	指定施設	292	283	96.9	252	86.3
計		+13 920	-5 886	96.3	-27 728	79.1

(4) 人間ドックアンケート調査返信施設の受診者数比較 (2003年)

	男性受診者数	女性受診者数	総受診者数	項目別対象 受診者数	癌症例対象 受診者数
① 一泊人間ドック	140,310	93,150	233,460	233,423	228,337
② 一日病院外来ドック	391,487	260,908	652,395	642,716	323,719
③ 一日人間ドック	941,958	597,188	1,539,146	1,516,728	1,630,159
④ そ の 他	437,018	304,949	741,967	721,739	708,139
合 計	1,910,773	1,256,195	3,166,968	3,114,606	2,890,354

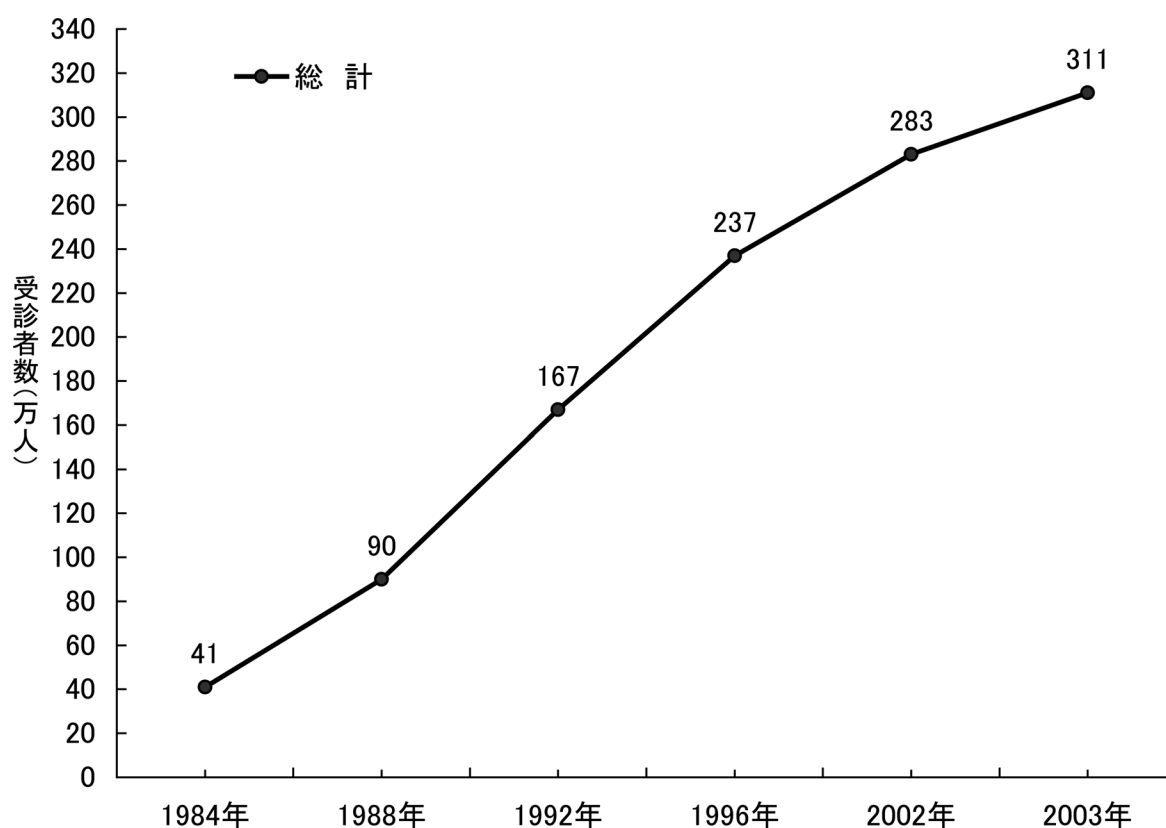
7. 日病指定・一泊人間ドック実施病院並びに一日人間ドック実施施設のアンケート返信状況 一年度別比較



8-1. アンケート調査による受診者の動向 一年別・年代別比較

調年	査別	年 別				計
		39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
1984年		89,045名	163,944名	127,122名	33,637名	413,748名
1988		187,259	350,177	274,844	85,717	897,997
1992		297,257	660,114	522,684	191,121	1,671,176
1996		425,007	892,751	743,762	311,087	2,372,607
2002		490,522	879,880	997,582	471,717	2,839,701
2003		562,733	949,338	1,081,939	520,596	3,114,606

8-2. アンケート調査による受診者の動向 一年別比較



人間ドック指定病院・施設の実態調査（1～6）

1～2. 日本病院会指定の一泊人間ドック指定病院数は628で、経営主体別に比較しますと、医療法人が全体の約半数近くを占め、次いで公益法人、市町村、赤十字の順です。一日人間ドック指定施設数は292で、医療法人と公益法人が過半数を占めています。

3. 最近10年間の一泊人間ドック指定病院数は平成6年までは年々増加傾向を示していました。以後横ばい状態でしたが平成13年より増加傾向を示しています。

一方、一日人間ドック指定施設は順調に増加し、10年前より約2倍の292施設に達しています。

4～5. 最近10年間の各種人間ドック、健診受診者数の推移について、人間ドック指定病院・施設とそれ以外の日病会員病院を総合して比較してみました。

一泊人間ドックと一日病院外来ドックは前年より僅かに増加、一日人間ドックは年々増加傾向を示しており、人間ドックの総合計は約336万で前年より約10万人増えています。生活習慣病健診は前年より減少、一般健診は横ばいで、健診と人間ドックを併せると約1,327万人（前年より約7万人増）に達しています。

6. 一泊人間ドック実施病院の全国集計のためのアンケート返信状況を平成15年分について調査しますと、病院数では前年より8病院減り603病院より通知を頂き、返信率は96.0%となりました。

一日人間ドックのアンケート返信状況を調べますと、施設数総計では前年より3施設増加して283施設に達し、指定施設の返信率は96.9%です。

7. 日病指定の一泊人間ドック実施病院および一日人間ドック実施施設の調査表返信状況を年度別に比較してみました。

両群共に指定施設の増加の影響もあり、返信率は、昨年よりやや減少して共に96%です。

8. アンケート調査表から人間ドックの受診者数を年度別に比較してみました。

返信数の増加につれ、一泊人間ドック、一日人間ドック共にほぼ平行して増加傾向を示し、今回は過去最高の311万人に達しています。

平成15年 人間ドック全国集計成績

I. 人間ドックの癌統計

1. 人間ドックで発見した臓器別癌占有率の年別・性別比較

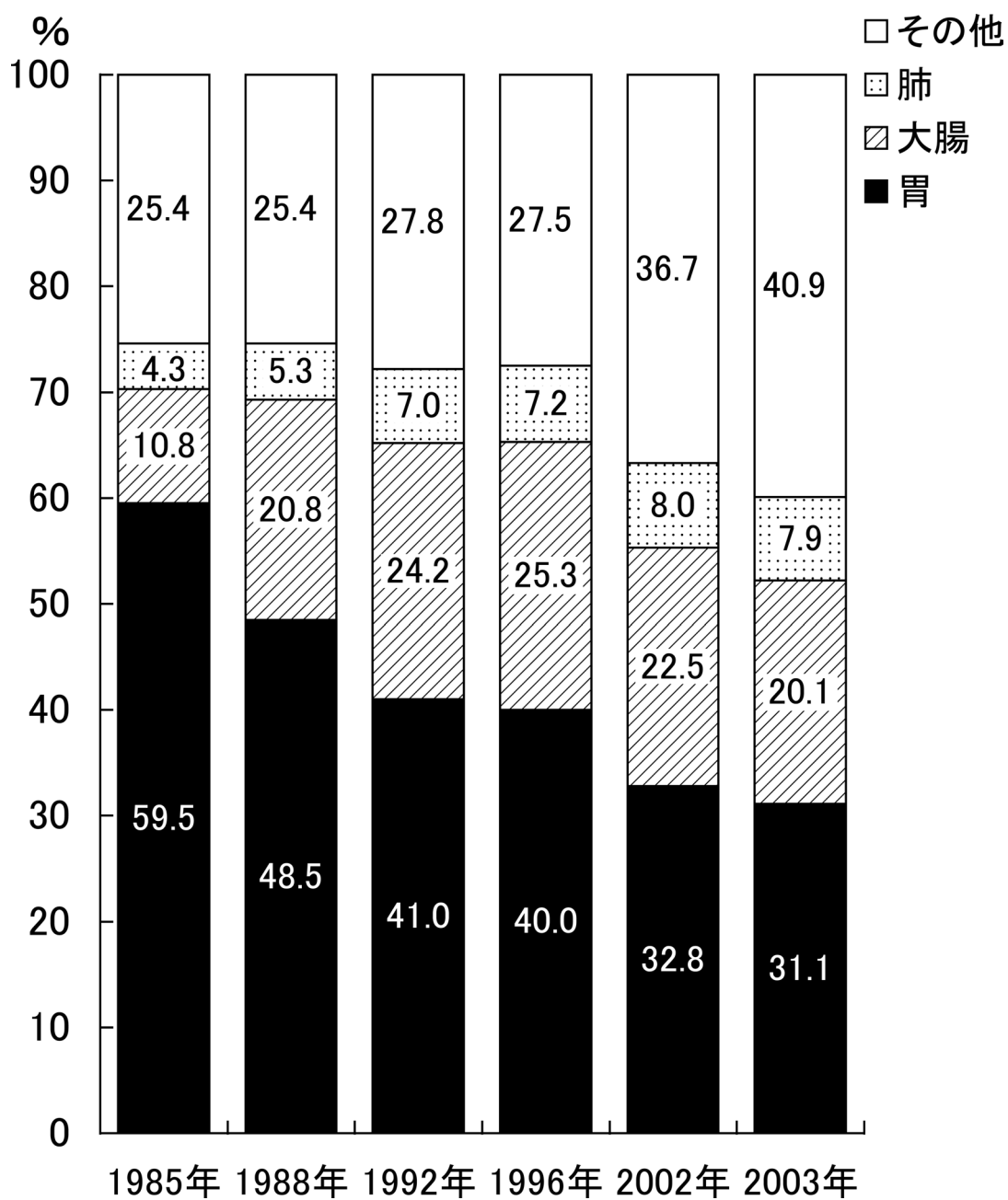
—全体の癌を100%として各臓器別の割合を表示—

性別	臓器別	胃	肺	肝	結腸	直腸	食道	膵	胆のう	腎	膀胱	前立腺	甲状腺	乳房	子宮	その他	計
	年																
男性	1985年	322	20	22	46	14	13	7	6	3		6	5			26	490
		65.7	4.1	4.5	9.4	2.9	2.7	1.4	1.2	0.6		1.2	1.0			5.3	100.0
	1988年	616	64	56	253	38	40	9	9	51		16	7			42	1,201
		51.3	5.3	4.7	21.1	3.2	3.3	0.7	0.7	4.2		1.3	0.6			3.5	100.0
	1992年	1,028	169	103	513	114	62	21	26	98		25	22			66	2,247
		45.7	7.5	4.6	22.8	5.1	2.8	0.9	1.2	4.4		1.1	1.0			2.9	100.0
	1996年	1,346	231	106	583	265	122	29	19	120	32	108	37			81	3,079
		43.7	7.5	3.5	18.9	8.6	4.0	0.9	0.6	4.0	1.0	3.5	1.2			2.6	100.0
	2002年	1,695	375	108	762	346	194	54	36	184	78	432	46			99	4,409
		38.4	8.5	2.4	17.3	7.8	4.4	1.2	0.8	4.2	1.8	9.8	1.0			2.2	100.0
	2003年	1,646	374	108	668	335	203	67	17	203	89	562	51			145	4,468
		36.8	8.4	2.4	15.0	7.5	4.5	1.5	0.4	4.5	2.0	12.6	1.1			3.2	100.0
女性	1985年	75	9	4	8	4	2	0	0	0			5	22	43	5	177
		42.5	5.0	2.3	4.5	2.3	1.1	0	0	0			2.8	12.4	24.3	2.8	100.0
	1988年	171	22	4	40	6	0	2	5	11			24	41	80	15	421
		40.6	5.2	1.0	9.5	1.4	0	0.5	1.2	2.6			5.7	9.7	19.0	3.6	100.0
	1992年	275	55	13	119	22	5	7	12	28			57	153	162	25	933
		29.5	5.9	1.4	12.8	2.4	0.5	0.8	1.3	3.0			6.1	16.4	17.4	2.7	100.0
	1996年	306	68	7	134	59	7	12	14	32	4		70	157	139	42	1,051
		29.1	6.5	0.7	12.8	5.6	0.7	1.1	1.3	3.0	0.4		6.7	14.9	13.2	4.0	100.0
	2002年	445	146	19	271	94	18	19	13	43	8		120	569	255	92	2,112
		21.1	6.9	0.9	12.8	4.5	0.9	0.9	0.6	2.0	0.4		5.7	26.9	12.1	4.4	100.0
	2003年	441	157	11	244	102	16	18	14	52	9		139	690	310	48	2,251
		19.6	7.0	0.5	10.8	4.5	0.7	0.8	0.6	2.3	0.4		6.2	30.7	13.8	2.1	100.0
男女合計	1985年	397	29	26	54	18	15	7	6	3		6	10	22	43	31	667
		59.5	4.3	3.9	8.1	2.7	2.2	1.0	0.9	0.4		0.9	1.5	3.3	6.4	4.6	100.0
	1988年	787	86	60	293	44	40	11	14	62		16	31	41	80	57	1,622
		48.5	5.3	3.7	18.1	2.7	2.5	0.7	0.8	3.8		1.0	1.9	2.5	4.9	3.5	100.0
	1992年	1,303	224	116	632	136	67	28	38	126		25	79	153	162	91	3,180
		41.0	7.0	3.6	19.9	4.3	2.1	0.9	1.2	4.0		0.8	2.5	4.8	5.1	2.8	100.0
	1996年	1,652	299	113	717	324	129	41	33	152	36	108	107	157	139	123	4,130
		40.0	7.2	2.7	17.4	7.9	3.1	1.0	0.8	3.7	0.9	2.6	2.5	3.8	3.4	3.0	100.0
	2002年	2,140	521	127	1,033	440	212	73	49	227	86	432	166	569	255	191	6,521
		32.8	8.0	1.9	15.8	6.7	3.3	1.1	0.8	3.5	1.3	6.6	2.5	8.7	3.9	2.9	100.0
	2003年	2,087	531	119	912	437	219	85	31	255	98	562	190	690	310	193	6,719
		31.1	7.9	1.8	13.6	6.5	3.3	1.3	0.5	3.8	1.5	8.4	2.8	10.3	4.6	2.9	100.0

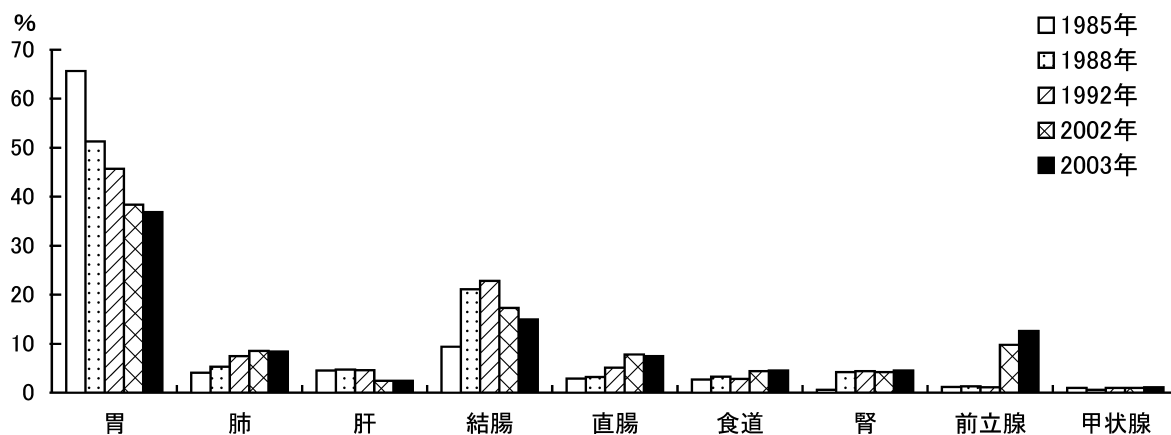
(注) 各年度の上段は実数で、下段は比率を示す。

2. 人間ドックで発見した臓器別癌占有率の経年変化

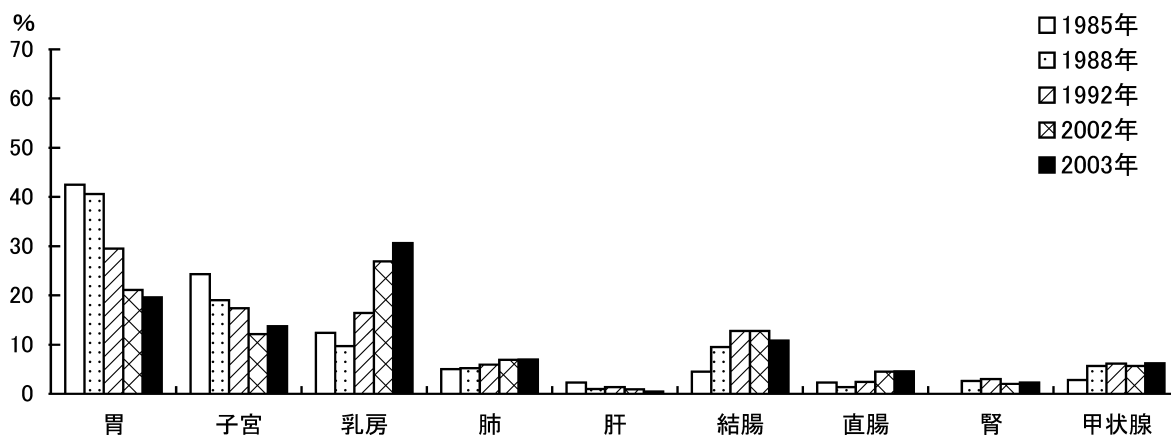
—全体の癌を100%として各臓器別の割合を表示—



3-1. 人間ドックで発見した癌の臓器別占有率 —男性の年別比較—



3-2. 人間ドックで発見した癌の臓器別占有率 —女性の年別比較—

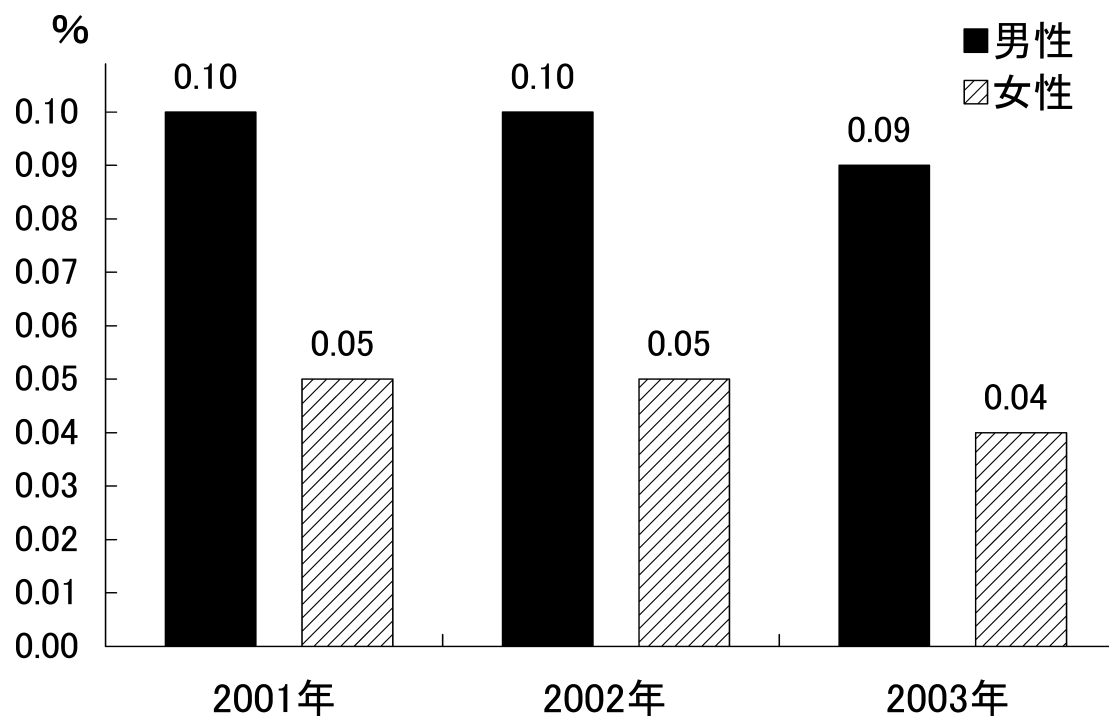


4. 最近3年間の主要臓器別癌発見率比較

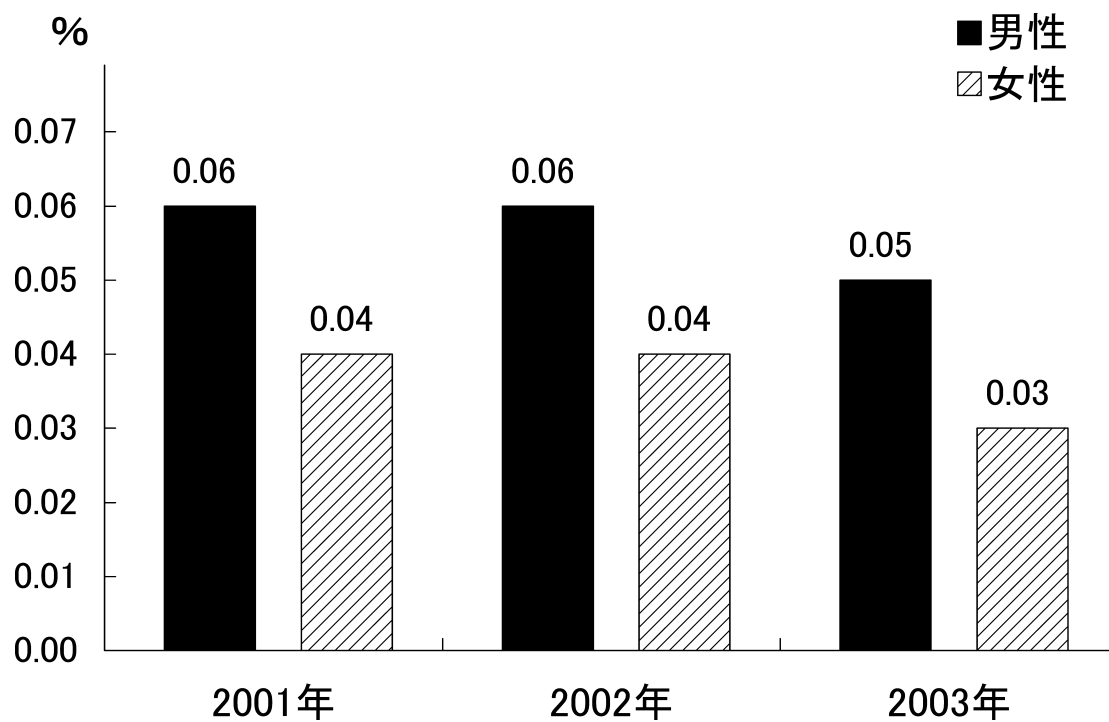
(総受診者数を100%とした臓器別の割合)

年	性別		胃	大腸	肺	前立腺	乳房	子宮	総受診者数
	2001年	男性	件数	1,762	1,076	329	324		
%			0.10	0.06	0.02	0.02			100.00
女性		件数	421	335	132		463	260	899,081
		%	0.05	0.04	0.01		0.05	0.03	100.00
男女合計		件数	2,183	1,411	461				2,589,543
		%	0.08	0.05	0.02				100.00
2002年	男性	件数	1,672	1,098	375	432			1,720,549
		%	0.10	0.06	0.02	0.03			100.00
	女性	件数	439	362	146		569	255	938,134
		%	0.05	0.04	0.02		0.06	0.03	100.00
	男女合計	件数	2,111	1,460	521				2,658,683
		%	0.08	0.05	0.02				100.00
2003年	男性	件数	1,637	998	374	562			1,872,950
		%	0.09	0.05	0.02	0.03			100.00
	女性	件数	440	342	157		690	310	1,017,404
		%	0.04	0.03	0.02		0.07	0.03	100.00
	男女合計	件数	2,077	1,340	531				2,890,354
		%	0.07	0.05	0.02				100.00

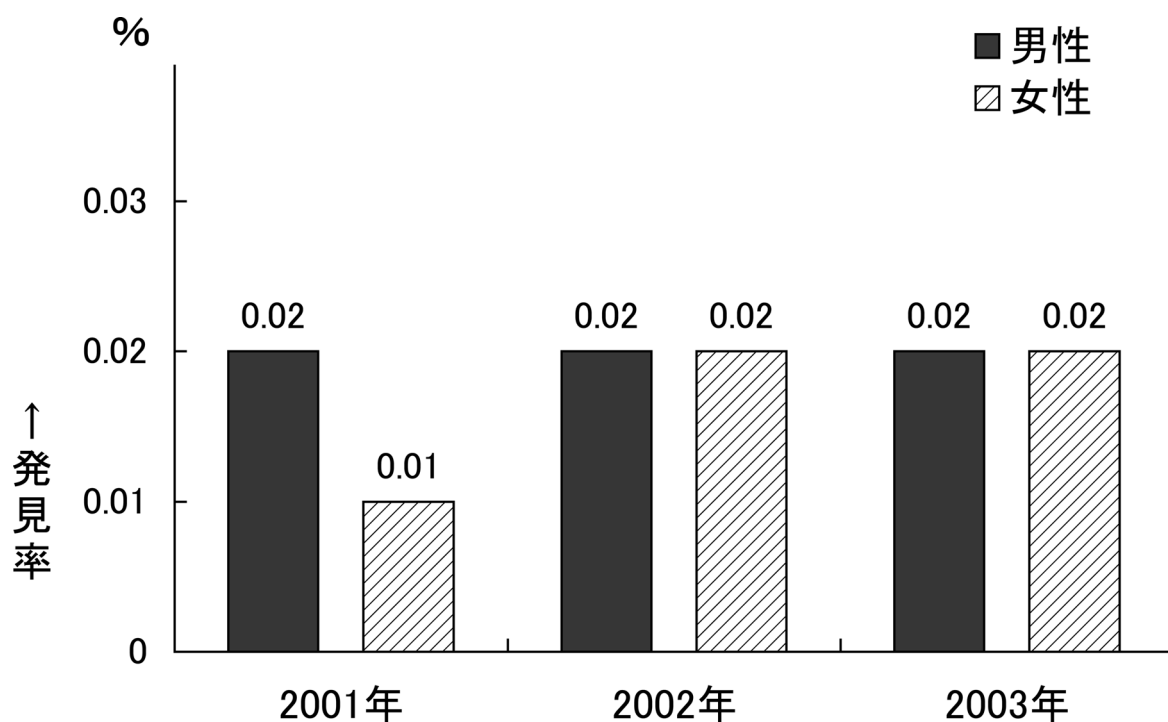
5. 最近3年間の胃癌発見率の比較



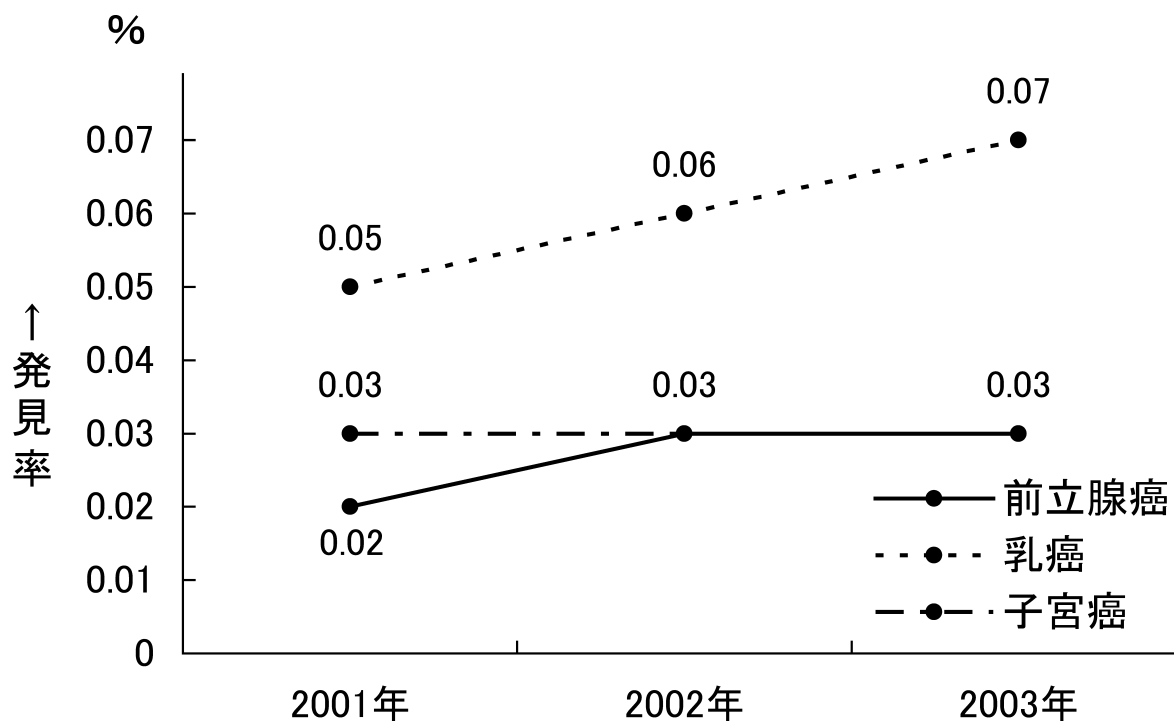
6. 最近3年間の大腸癌発見率の比較



7. 最近3年間の肺癌発見率の比較



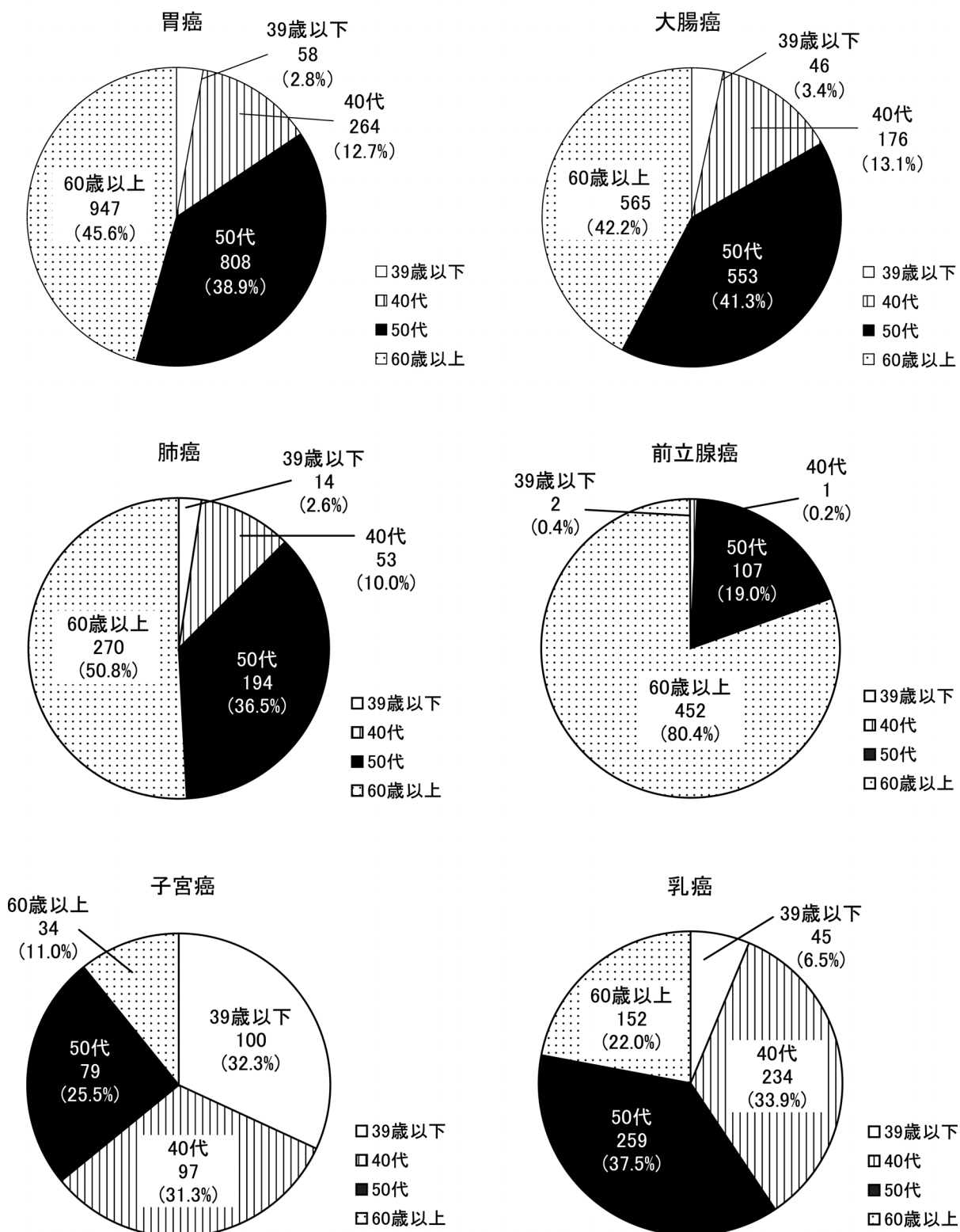
8. 最近3年間の前立腺癌・乳癌・子宮癌発見率の比較



9. 主要臓器別癌の性別・年代別占有率比較（2003年）

検討項目		性		年 代			
種 類	症 例	男	女	39歳 以下	40代	50代	60歳 以上
胃 癌	症例数	1,637	440	58	264	808	947
	%	78.8	21.2	2.8	12.7	38.9	45.6
大腸癌	症例数	998	342	46	176	553	565
	%	74.5	25.5	3.4	13.1	41.3	42.2
肺 癌	症例数	374	157	14	53	194	270
	%	70.4	29.6	2.6	10.0	36.5	50.8
前立腺	症例数	562		2	1	107	452
	%	100.0		0.4	0.2	19.0	80.4
乳 癌	症例数		690	45	234	259	152
	%		100.0	6.5	33.9	37.5	22.0
子宮癌	症例数		310	100	97	79	34
	%		100.0	32.3	31.3	25.5	11.0

10. 主要臓器別癌の年代別占有率比較（2003年）



人間ドックの癌統計（1—9）

1. 各年ごとに人間ドックで発見した総ての癌の発見数を100%として、各臓器ごとに占める割合（占有率）を性別に比較しました。
2. 各臓器別の占有率について、特に発見頻度の高い胃・大腸・肺癌の経年変化を調査しました。

発見頻度の最も高い胃癌占有率は年々減少傾向を示し、19年前に比して半減しています。大腸癌は、1996年以来増加に歯止めがかかっており、肺癌は微増傾向でしたが、今回は前年と同率です。従って、その他の癌の占める割合が2003年は40%に達し、20年間で15%も増えています。

3. 人間ドックで発見した臓器別癌占有率を性別に比較してみました。その他の癌の増加理由は、男性の前立腺癌、女性の乳癌によることが明らかです。
4. 最近3年間の主な臓器別癌について、性別に癌発見率の比較を行ってみました。
5. 胃癌は各年度共に2：1で男性が高く、2003年は男女とも発見率がやや低下しています。
6. 大腸癌も胃癌と同様に各年度共に10：6の割合で男性が高く、2003年はやや発見率が低下しています。
7. 肺癌は2001年は2：1で男性の方が高かったのですが、2002年以降は男女比が同率となり、5,000人に一人の割合で発見しています。
8. 乳癌は近年発見率の増加が著しく、2003年は胃癌と同率の0.07%です。前立腺癌の占有率は年々増えていますが、発見率は前年と同じです。

子宮癌の占有率は近年減少していますが、発見率は変化していません。

9. 主要臓器別癌の性別・年代別の占有率を、2003年で比較してみました。
10. 胃癌、大腸癌、肺癌の占有率は、加齢と共に増加しています。前立腺癌は50歳以下には殆ど認められず、60歳以上が過半数を占めています。

子宮癌は30～40歳代で64%を占め、50歳代以後は加齢と共に減っています。乳癌は40～59歳で71%と過半数を占めています。

Ⅱ．人間ドックの検査項目別統計

—生活習慣病関連を中心に—

1. 人間ドック項目別全国成績総合計（2003年）

年代別	39歳以下			40～49歳			50～59歳			60歳以上			総 計		
異常なし (A+B)	人 数 (135,996)			人 数 (130,520)			人 数 (105,434)			人 数 (42,726)			人 数 (414,676)		
	受診者数 (562,733)			受診者数 (949,338)			受診者数 (1,081,939)			受診者数 (520,596)			受診者数 (3,114,606)		
新判定 旧判定 症例	C	D ₁	D ₂	C	D ₁	D ₂	C	D ₁	D ₂	C	D ₁	D ₂	C	D ₁	D ₂
	BF+C	D	G	BF+C	D	G	BF+C	D	G	BF+C	D	G	BF+C	D	G
肥 満	90,818	6,762	2,268	184,307	11,880	3,742	205,287	11,511	3,927	97,518	4,149	1,720	577,930	34,302	11,657
呼吸器疾患	13,211	1,029	5,204	36,367	2,749	13,604	69,351	4,829	24,711	60,475	4,878	17,790	179,404	13,485	61,309
高 血 圧	19,985	4,438	2,761	61,639	30,282	9,091	97,763	82,009	15,974	55,938	64,187	9,000	235,325	180,916	36,826
高コレステロール	64,371	11,373	6,977	159,440	36,751	19,242	229,101	66,510	30,480	105,584	31,994	15,015	558,496	146,628	71,714
高中性脂肪	53,779	6,986	5,648	116,049	20,832	13,879	132,351	27,987	15,537	53,250	14,128	6,256	355,429	69,933	41,320
高 尿 酸	33,531	7,460	4,561	68,721	18,350	10,586	71,643	22,490	10,655	32,566	11,880	4,974	206,461	60,180	30,776
心電図異常	19,160	1,030	6,477	47,727	4,579	16,643	73,769	13,312	29,838	52,378	15,135	21,396	193,034	34,056	74,354
腎・尿路疾患	49,556	2,549	15,285	116,691	6,841	33,478	159,600	9,952	45,236	89,882	5,935	25,116	415,729	25,277	119,115
食道・胃疾患	21,950	2,275	15,346	61,130	7,957	41,970	84,845	12,634	59,928	47,745	7,211	30,532	215,670	30,077	147,776
十二指腸疾患	6,024	1,161	3,065	17,355	3,794	8,335	22,595	4,628	10,896	10,441	2,026	4,788	56,415	11,609	27,084
胆石・胆のうポリープ	37,174	1,074	3,383	103,667	3,233	9,301	134,852	4,350	12,978	63,462	2,638	7,608	339,155	11,295	33,270
肝機能異常	101,367	5,106	18,365	231,083	12,086	35,769	275,408	14,771	41,885	116,002	7,214	18,151	723,860	39,177	114,170
その他の消化器疾患	22,818	836	9,932	60,863	4,121	24,883	80,965	5,587	34,476	41,466	4,176	19,936	206,112	14,720	89,227
糖 尿 病	14,493	3,975	4,995	56,353	21,794	21,278	100,505	54,836	41,330	55,879	31,932	21,314	227,230	112,537	88,917
血 液 疾 患	42,054	4,376	10,014	89,076	14,034	23,311	95,936	8,271	20,757	49,376	3,234	9,343	276,442	29,915	63,425
血清梅毒反応	2,341	86	630	4,341	266	1,544	5,873	440	2,267	2,941	259	1,475	15,496	1,051	5,916
リウマチ疾患	9,247	202	2,065	22,597	853	5,544	24,806	1,538	6,275	11,495	795	3,071	68,145	3,388	16,955
眼 科	14,321	2,268	11,108	39,040	7,414	28,069	65,422	15,553	41,150	48,549	19,410	30,253	167,332	44,645	110,580
肛門・大腸疾患	4,660	785	12,044	13,728	2,025	25,918	22,747	3,713	39,129	13,877	2,363	22,977	55,012	8,886	100,068
前立腺疾患	790	60	249	3,380	288	1,165	9,508	1,595	4,251	10,563	4,310	6,050	24,241	6,253	11,715
婦 人 科	11,622	2,338	4,802	31,530	6,260	11,124	26,823	5,014	7,671	7,647	1,301	2,194	77,622	14,913	25,791
乳房疾患	10,388	574	6,562	22,768	1,389	13,940	17,504	1,247	10,693	5,634	547	3,733	56,294	3,757	34,928
その他の疾患	26,193	3,418	7,323	62,017	8,588	18,014	98,066	14,879	29,899	67,776	11,337	19,848	254,052	38,222	75,084
合 計	669,853	70,161	159,064	1,609,869	226,366	390,430	2,104,720	387,656	539,943	1,100,444	251,039	302,540	5,484,886	935,222	1,391,977

A…異常なし B…軽度異常なるも現在心配なし C…軽度異常あり生活改善し経過観察を要す

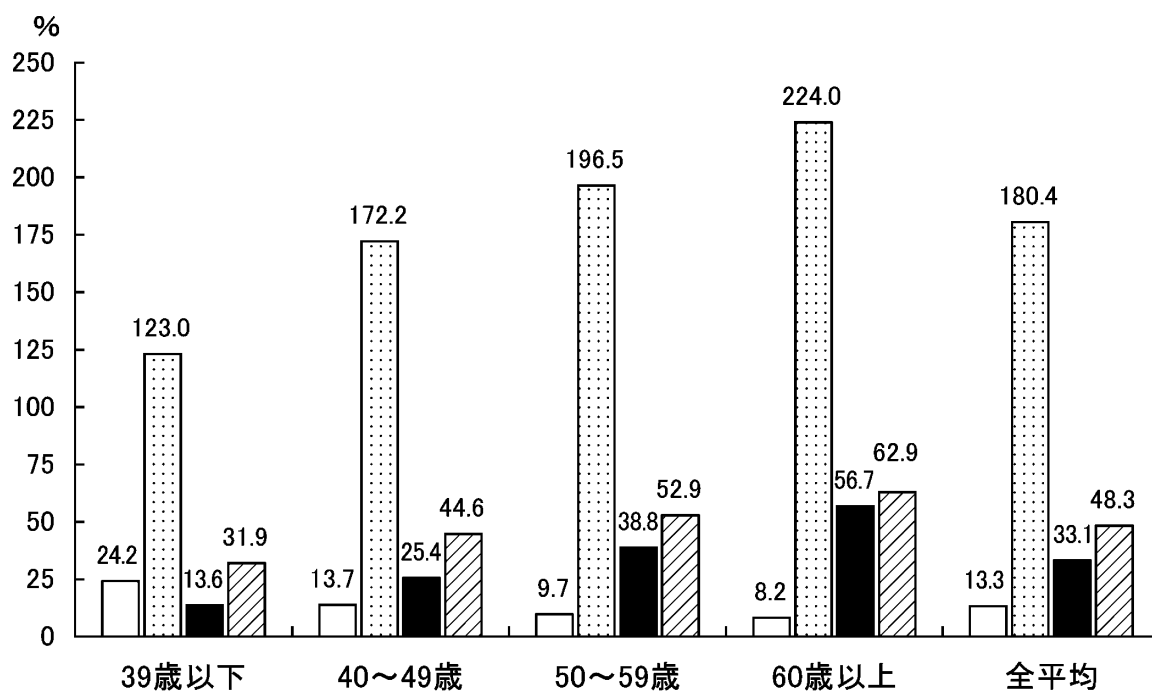
D₁…医療を要す D₂…二次精査を要す

2. 人間ドック受診者の判定別・年代別総合成績 一年別比較

年 齢		39 歳以下		40～49 歳		50～59 歳		60 歳以上		計	
対 象 人 員	84	89,045 名		163,944 名		127,122 名		33,637 名		413,748 名	
	88	187,259		350,177		274,844		85,717		897,997	
	92	297,257		660,114		522,684		191,121		1,671,176	
	96	425,007		892,751		743,762		311,087		2,372,607	
	02	490,522		879,880		997,582		471,717		2,839,701	
	03	562,733		949,338		1,081,939		520,596		3,114,606	
A + B	84	33,091	37.2%	51,056	31.1%	31,520	24.8%	7,531	22.4%	123,198	29.8%
	88	69,180	36.9	94,671	27.0	55,199	20.0	12,730	14.8	231,780	25.8
	92	89,226	30.0	141,809	21.4	84,109	16.0	22,297	11.6	337,441	20.1
	96	124,235	29.2	157,593	17.6	94,690	12.7	28,374	9.1	404,892	17.0
	02	121,317	24.7	124,590	14.2	96,042	9.6	34,537	7.3	376,486	13.3
	03	135,996	24.2	130,520	13.7	105,434	9.7	42,726	8.2	414,676	13.3
C	84	60,977	68.6	144,363	87.4	138,494	108.7	42,889	127.5	386,723	93.5
	88	169,246	90.4	412,645	117.8	392,895	143.0	143,822	167.8	1,118,608	124.6
	92	310,387	104.4	875,867	132.6	817,878	156.4	350,124	183.1	2,354,256	140.8
	96	488,848	115.0	1,400,251	156.8	1,365,102	183.5	663,292	213.2	3,917,493	165.1
	02	650,795	132.7	1,587,103	180.4	2,083,573	208.9	1,093,721	231.9	5,415,192	190.7
	03	692,006	123.0	1,634,725	172.2	2,126,164	196.5	1,166,207	224.0	5,619,102	180.4
D1	84	6,998	8.0	22,465	13.4	28,286	22.0	9,932	29.6	67,681	16.4
	88	13,932	7.4	45,065	12.9	56,025	20.4	23,393	27.3	138,415	15.4
	92	30,317	10.1	108,247	16.3	130,867	25.0	63,769	33.3	333,200	19.9
	96	44,817	10.5	168,363	18.8	211,845	28.4	127,071	40.8	552,096	23.2
	02	69,025	14.1	224,718	25.5	385,030	38.6	250,187	53.0	928,960	32.7
	03	76,346	13.6	241,595	25.4	419,292	38.8	295,214	56.7	1,032,447	33.1
D2	84	19,769	22.3	45,528	27.8	45,129	35.6	14,017	41.6	124,443	30.1
	88	42,802	22.9	106,423	30.4	100,800	36.7	38,397	44.8	288,422	32.1
	92	86,960	29.2	260,282	39.4	249,095	47.6	115,846	60.6	712,183	42.6
	96	130,005	30.5	397,205	44.4	394,652	53.0	205,384	66.0	1,127,246	47.5
	02	159,064	32.4	390,430	44.4	539,943	54.1	302,540	64.1	1,391,977	49.0
	03	179,681	31.9	423,673	44.6	572,441	52.9	327,319	62.9	1,503,114	48.3

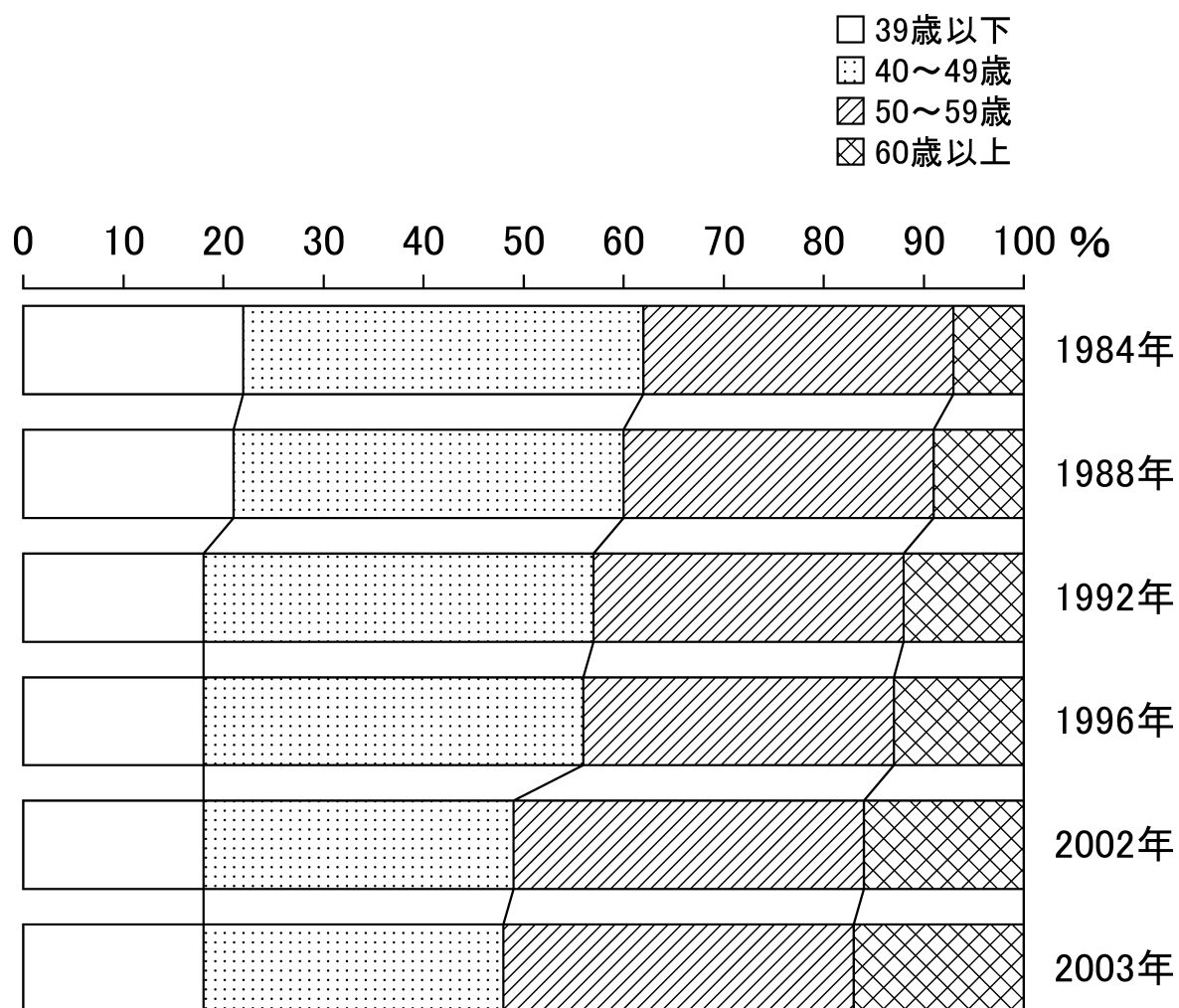
3. 人間ドック受診者の判定別・年代別総合成績（2003年）

—対象 3,114,606名—

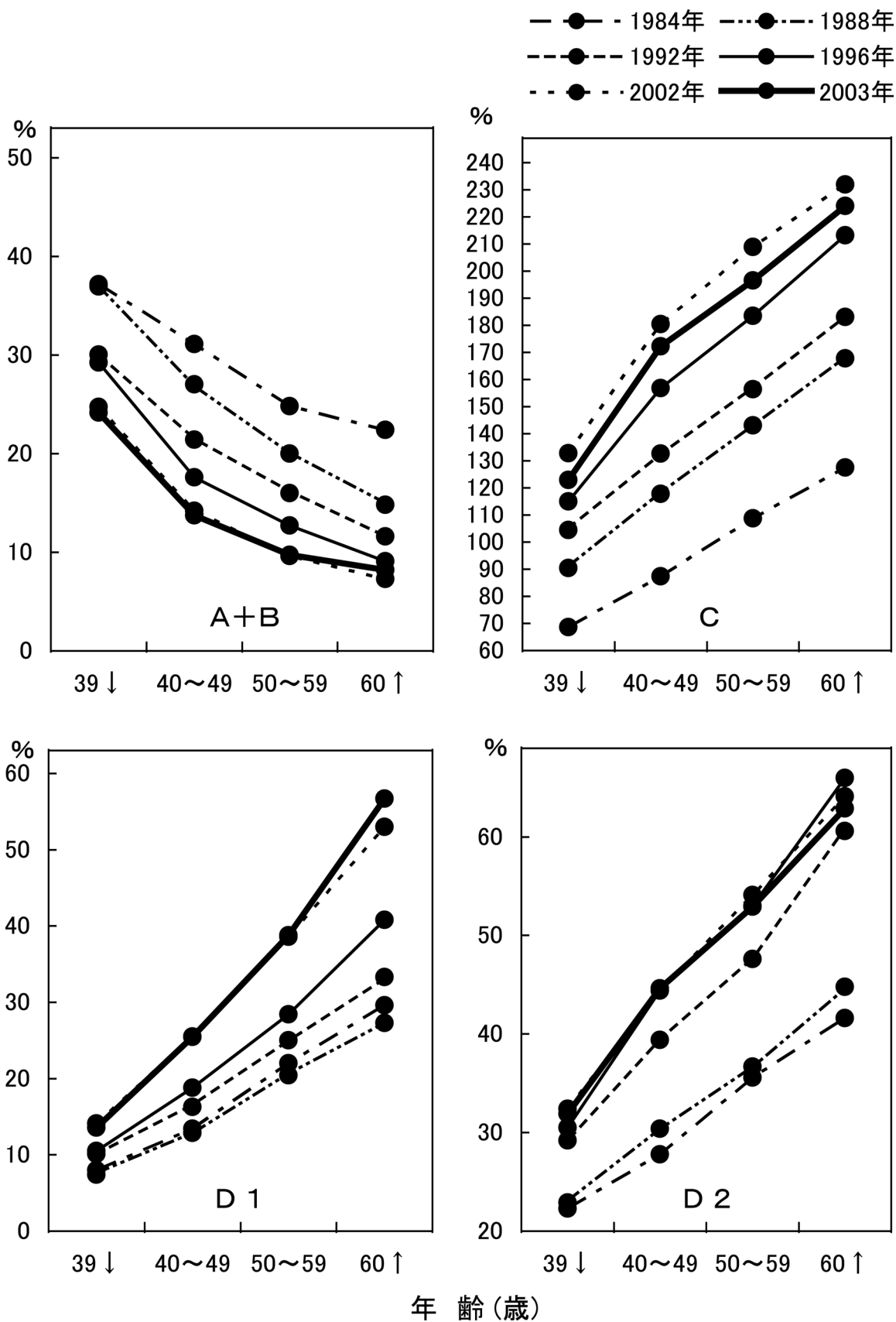


- A+B (異常なし)
- ▨ C (軽度異常あり生活改善し経過観察を要す)
- D1 (要医療)
- ▩ D2 (要精密検査)

4. アンケート調査による受診者の年代別傾向 一年代別・年度別



5. 人間ドック受診者の判定別・年代別総合成績 一年別比較

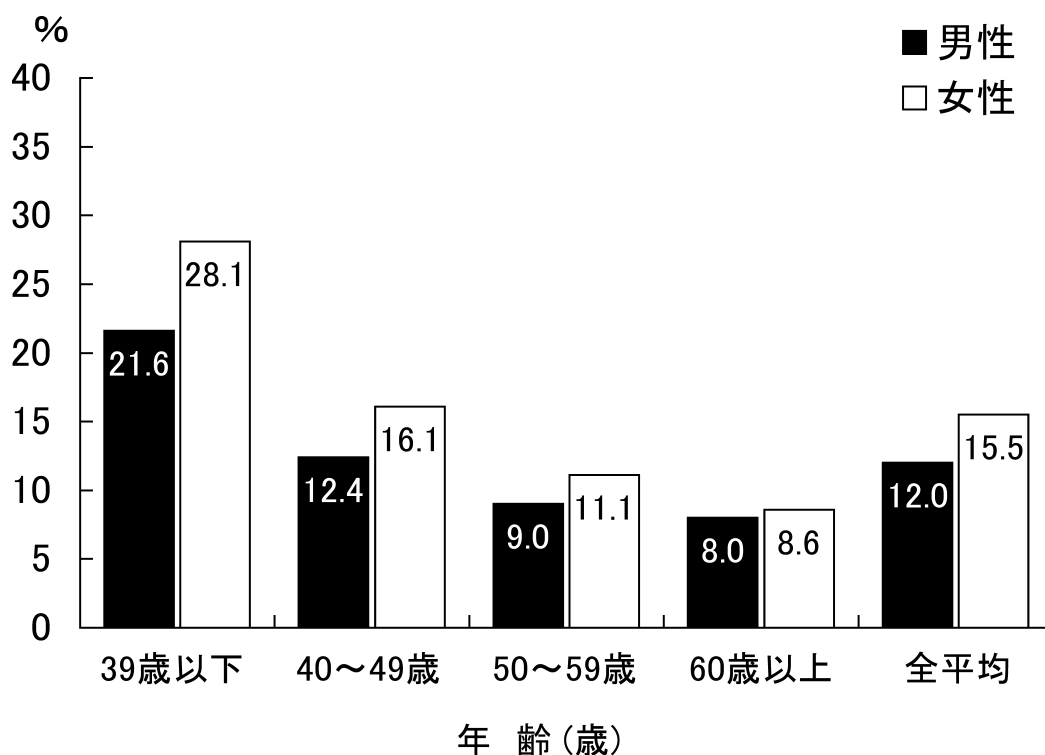


6. 人間ドック受診者の判定別総合成績 —性別・年代別比較— (2003年)

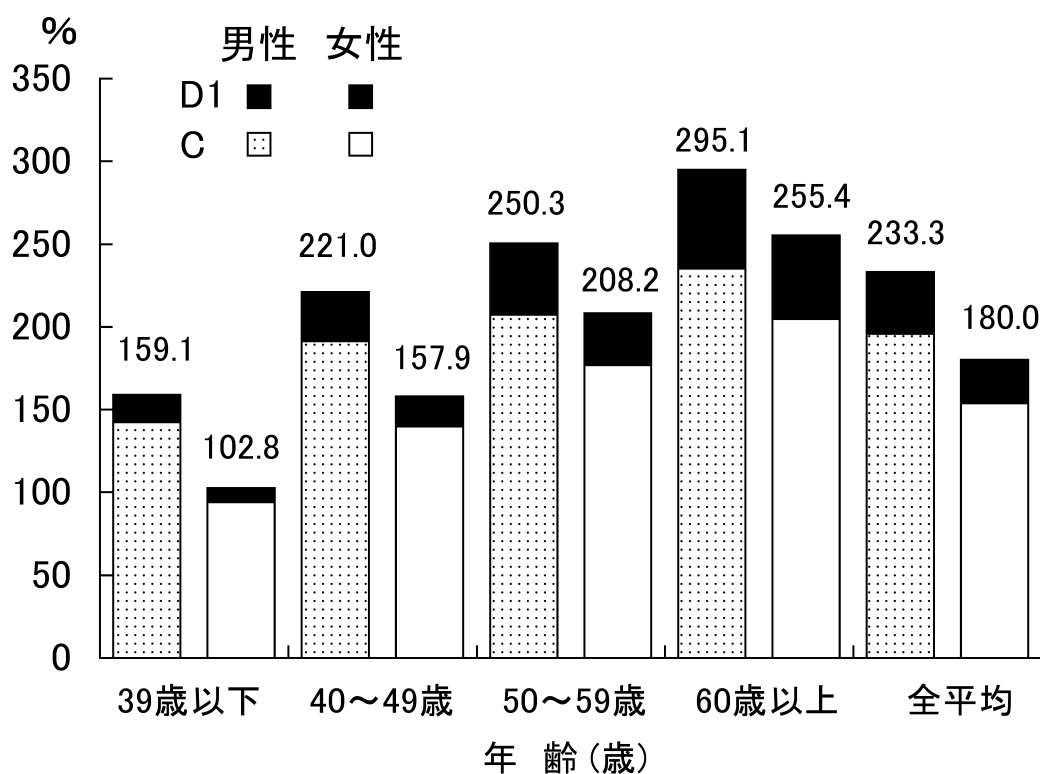
(人数)

年齢	39歳以下		40～49歳		50～59歳		60歳以上		計	
	受診者数	562,733 (100.0%)	男 337,272 (100.0%) 女 225,461 (100.0%)	949,338 (100.0%)	男 597,859 (100.0%) 女 351,479 (100.0%)	1,081,939 (100.0%)	男 695,029 (100.0%) 女 386,910 (100.0%)	520,596 (100.0%)	男 331,730 (100.0%) 女 188,866 (100.0%)	3,114,606 (100.0%)
A+B	135,996 (24.2%)	男 72,696 (21.6%) 女 63,300 (28.1%)	130,520 (13.7%)	男 73,956 (12.4%) 女 56,564 (16.1%)	105,434 (9.7%)	男 62,419 (9.0%) 女 43,015 (11.1%)	42,726 (8.2%)	男 26,558 (8.0%) 女 16,168 (8.6%)	414,676 (13.3%)	男 235,629 (12.0%) 女 179,047 (15.5%)
C	692,006 (123.0%)	男 480,145 (142.4%) 女 211,861 (94.0%)	1,634,725 (172.2%)	男 1,142,889 (191.2%) 女 491,836 (139.9%)	2,126,164 (196.5%)	男 1,441,449 (207.4%) 女 684,715 (177.0%)	1,166,207 (224.0%)	男 779,642 (235.0%) 女 386,565 (204.7%)	5,619,102 (180.4%)	男 3,844,125 (195.9%) 女 1,774,977 (154.0%)
D 1	76,346 (13.6%)	男 56,411 (16.7%) 女 19,935 (8.8%)	241,595 (25.4%)	男 178,313 (29.8%) 女 63,282 (18.0%)	419,292 (38.8%)	男 298,507 (42.9%) 女 120,785 (31.2%)	295,214 (56.7%)	男 199,385 (60.1%) 女 95,829 (50.7%)	1,032,447 (33.1%)	男 732,616 (37.3%) 女 299,831 (26.0%)
D 2	179,681 (31.9%)	男 110,957 (32.9%) 女 68,724 (30.5%)	423,673 (44.6%)	男 274,339 (45.9%) 女 149,334 (42.5%)	572,441 (52.9%)	男 382,535 (55.0%) 女 189,906 (49.1%)	327,319 (62.9%)	男 218,026 (65.7%) 女 109,293 (57.9%)	1,503,114 (48.3%)	男 985,857 (50.3%) 女 517,257 (44.9%)

7. 年代別健常者頻度 —性別比較— (2003年)



8. 年代別異常者頻度 —性別比較— (2003年)



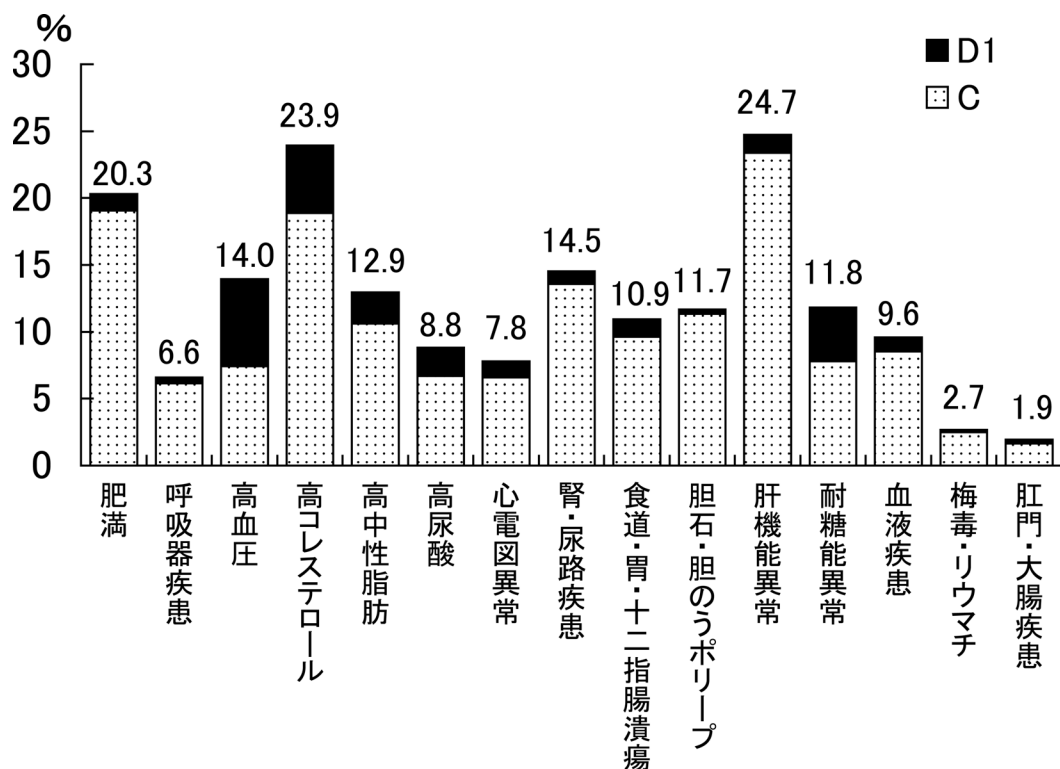
9. 人間ドック検査項目別異常者頻度 —性別— (2003年)

対象人員 男 1,961,890名

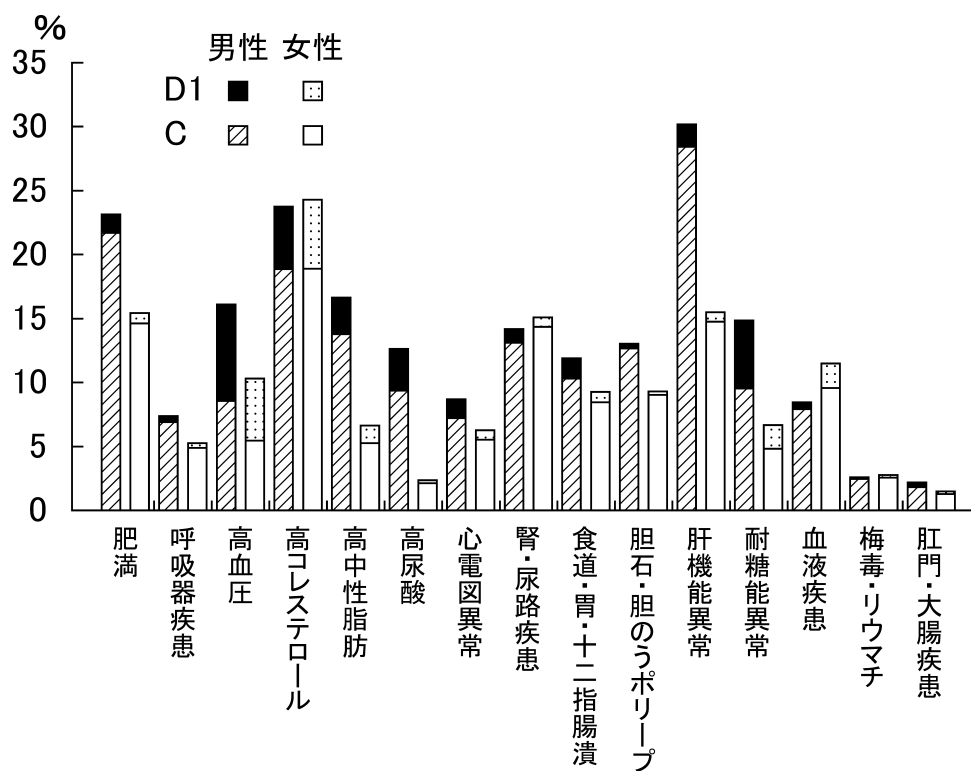
女 1,152,716名

判 定	C		D 1		計	
	人数 (%)	男 女 (%)	人数 (%)	男 女 (%)	人数 (%)	男 女 (%)
肥 満	594,177 (19.1%)	男 425,845 (21.7%)	38,165 (1.2%)	男 28,469 (1.5%)	632,342 (20.3%)	男 454,314 (23.2%)
		女 168,332 (14.6%)		女 9,696 (0.8%)		女 178,028 (15.4%)
呼 吸 器 疾 患	191,413 (6.1%)	男 135,194 (6.9%)	13,683 (0.4%)	男 9,459 (0.5%)	205,096 (6.6%)	男 144,653 (7.4%)
		女 56,219 (4.9%)		女 4,224 (0.4%)		女 60,443 (5.2%)
高 血 圧	230,908 (7.4%)	男 167,979 (8.6%)	203,687 (6.5%)	男 147,959 (7.5%)	434,595 (14.0%)	男 315,938 (16.1%)
		女 62,929 (5.5%)		女 55,728 (4.8%)		女 118,657 (10.3%)
高コレステロール	588,037 (18.9%)	男 370,267 (18.9%)	157,561 (5.1%)	男 95,360 (4.9%)	745,598 (23.9%)	男 465,627 (23.7%)
		女 217,770 (18.9%)		女 62,201 (5.4%)		女 279,971 (24.3%)
高 中 性 脂 肪	330,583 (10.6%)	男 270,108 (13.8%)	72,746 (2.3%)	男 56,544 (2.9%)	403,329 (12.9%)	男 326,652 (16.6%)
		女 60,475 (5.2%)		女 16,202 (1.4%)		女 76,677 (6.7%)
高 尿 酸	208,026 (6.7%)	男 183,631 (9.4%)	66,856 (2.1%)	男 64,086 (3.3%)	274,882 (8.8%)	男 247,717 (12.6%)
		女 24,395 (2.1%)		女 2,770 (0.2%)		女 27,165 (2.4%)
心 電 図 異 常	205,069 (6.6%)	男 141,301 (7.2%)	37,665 (1.2%)	男 29,020 (1.5%)	242,734 (7.8%)	男 170,321 (8.7%)
		女 63,768 (5.5%)		女 8,645 (0.7%)		女 72,413 (6.3%)
腎・尿路疾患	422,363 (13.6%)	男 257,004 (13.1%)	29,570 (0.9%)	男 21,092 (1.1%)	451,933 (14.5%)	男 278,096 (14.2%)
		女 165,359 (14.3%)		女 8,478 (0.7%)		女 173,837 (15.1%)
食道・胃・十二指腸潰瘍	299,580 (9.6%)	男 202,198 (10.3%)	40,723 (1.3%)	男 31,383 (1.6%)	340,303 (10.9%)	男 233,581 (11.9%)
		女 97,382 (8.4%)		女 9,340 (0.8%)		女 106,722 (9.3%)
胆石・胆のうポリープ	352,920 (11.3%)	男 248,791 (12.7%)	10,061 (0.3%)	男 7,141 (0.4%)	362,981 (11.7%)	男 255,932 (13.0%)
		女 104,129 (9.0%)		女 2,920 (0.3%)		女 107,049 (9.3%)
肝機能異常 (脂肪肝含)	727,877 (23.4%)	男 557,701 (28.4%)	42,858 (1.4%)	男 34,464 (1.8%)	770,735 (24.7%)	男 592,165 (30.2%)
		女 170,176 (14.8%)		女 8,394 (0.7%)		女 178,570 (15.5%)
耐糖能異常	242,690 (7.8%)	男 187,261 (9.5%)	125,230 (4.0%)	男 103,960 (5.3%)	367,920 (11.8%)	男 291,221 (14.8%)
		女 55,429 (4.8%)		女 21,270 (1.8%)		女 76,699 (6.7%)
血 液 疾 患	265,816 (8.5%)	男 155,412 (7.9%)	32,452 (1.0%)	男 10,530 (0.5%)	298,268 (9.6%)	男 165,942 (8.5%)
		女 110,404 (9.6%)		女 21,922 (1.9%)		女 132,326 (11.5%)
梅毒・リウマチ	77,839 (2.5%)	男 48,354 (2.5%)	4,918 (0.2%)	男 2,527 (0.1%)	82,757 (2.7%)	男 50,881 (2.6%)
		女 29,485 (2.6%)		女 2,391 (0.2%)		女 31,876 (2.8%)
肛門・大腸疾患	50,836 (1.6%)	男 36,014 (1.8%)	9,439 (0.3%)	男 7,203 (0.4%)	60,275 (1.9%)	男 43,217 (2.2%)
		女 14,822 (1.3%)		女 2,236 (0.2%)		女 17,058 (1.5%)

10-1. 人間ドック検査項目別異常者頻度（2003年）



10-2. 人間ドック検査項目別の男性・女性異常者頻度（2003年）

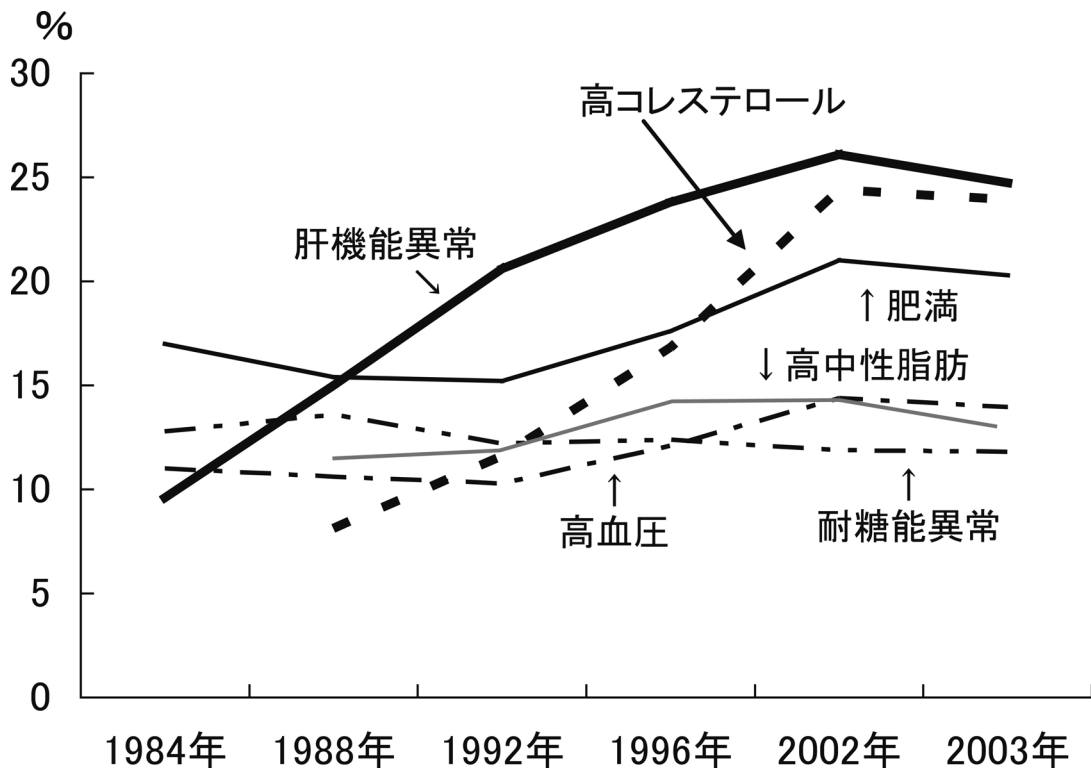


11. 6項目異常頻度 一年代別・年別比較

分類年別		年齢		39歳以下		40～49歳		50～59歳		60歳以上		計(全平均)							
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
対象人員		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
肥満		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
耐糖能異常		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
高血圧		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
高コレステロール		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
高脂血症		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
肝機能異常		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03
		84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03	84	88	92	96	02	03

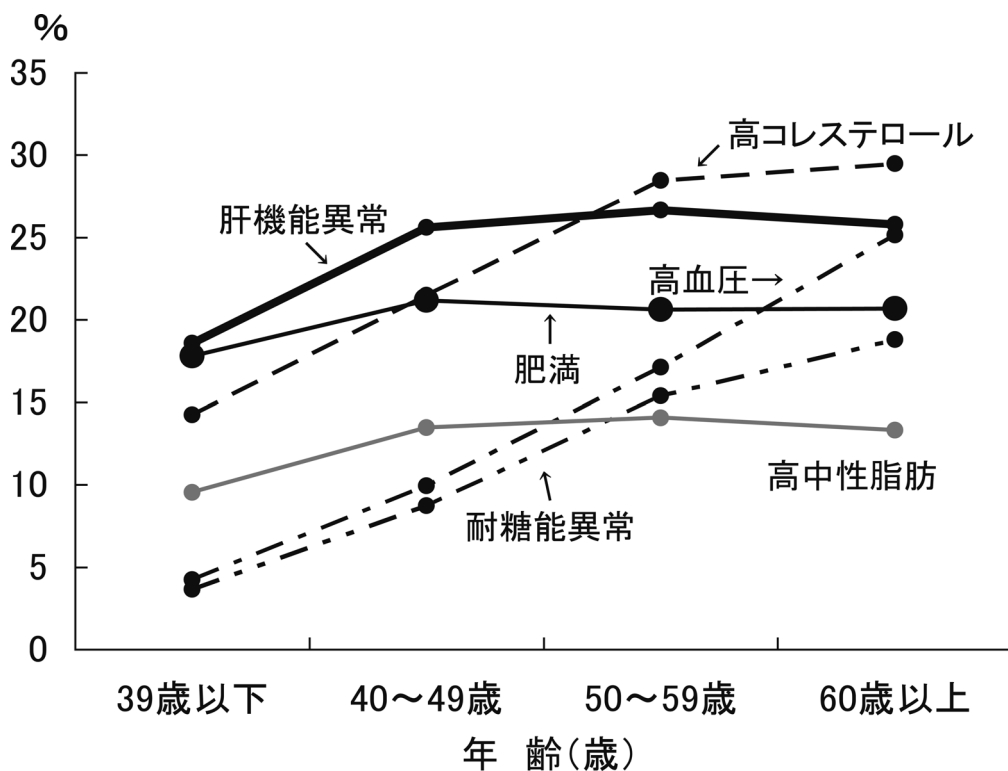
(注) '84年の「高コレステロール」と「高中性脂肪」は、分けないで高脂肪として統計をとったため、空欄とした。

12. 6項目異常頻度 一年別比較



(注) 1984年は高中性脂肪血症と高コレステロール血症をまとめて高脂肪としたので省略。

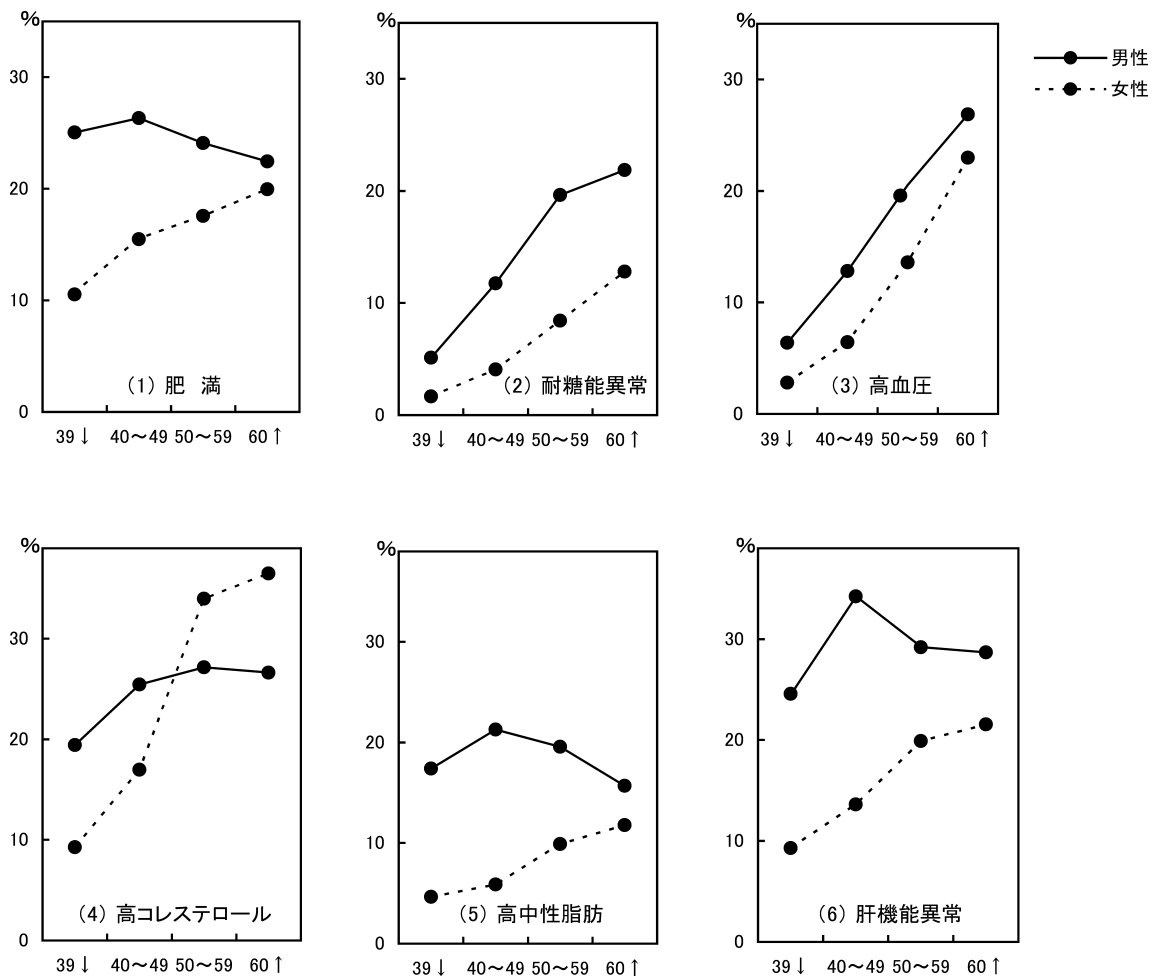
13. 6項目異常頻度 一年代別比較 (2003年)



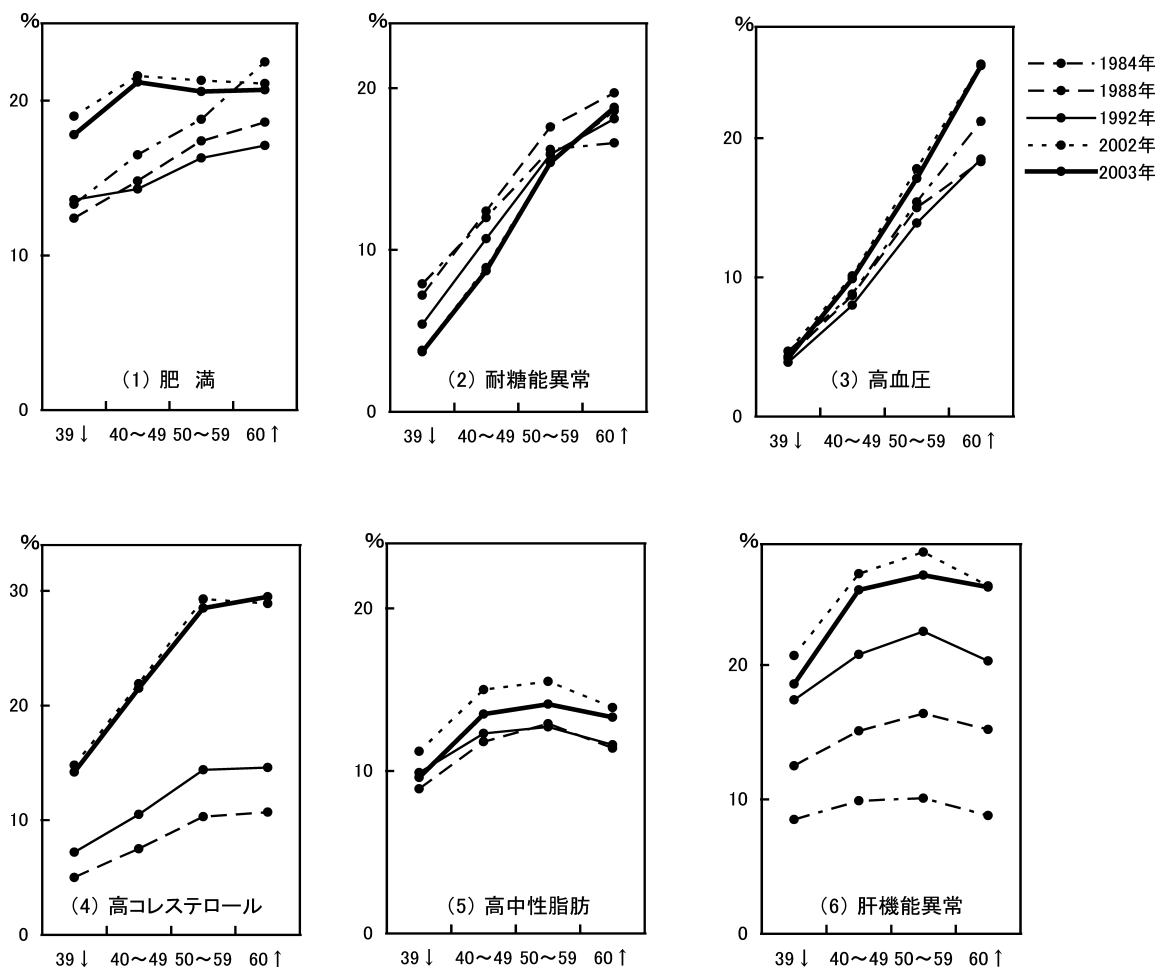
14. 6項目異常頻度 一年代別・性別比較

年 歳		39歳以下		40～49歳		50～59歳		60歳以上		計	
対象人員	男性	337,272名		597,859名		695,029名		331,730名		1,961,890名	
	女性	225,461		351,479		386,910		188,866		1,152,716	
肥 満	男性	75,915	22.5%	149,220	25.0%	156,878	22.6%	72,301	21.8%	454,314	23.2%
	女性	24,380	10.8	51,984	14.8	66,286	17.1	35,378	18.7	178,028	15.4
耐糖能異常	男性	17,074	5.1	68,407	11.4	132,661	19.1	73,079	22.0	291,221	14.8
	女性	3,565	1.6	14,447	4.1	33,959	8.8	24,728	13.1	76,699	6.7
高血圧	男性	19,050	5.6	72,821	12.2	134,825	19.4	89,242	26.9	315,938	16.1
	女性	4,785	2.1	21,562	6.1	50,550	13.1	41,760	22.1	118,657	10.3
高コレステロール	男性	60,975	18.1	145,323	24.3	175,604	25.3	83,725	25.2	465,627	23.7
	女性	19,120	8.5	58,720	16.7	132,357	34.2	69,774	36.9	279,971	24.3
高中性脂肪	男性	47,138	14.0	111,593	18.7	118,957	17.1	48,964	14.8	326,652	16.6
	女性	6,631	2.9	16,431	4.7	33,213	8.6	20,402	10.8	76,677	6.7
肝機能異常	男性	86,691	25.7	197,614	33.1	214,470	30.9	93,390	28.2	592,165	30.2
	女性	17,955	8.0	45,616	13.0	74,008	19.1	40,991	21.7	178,570	15.5

15. 6項目異常頻度 —性別・年代別比較— (2003年)



16. 6項目異常頻度 一年代別・年別比較



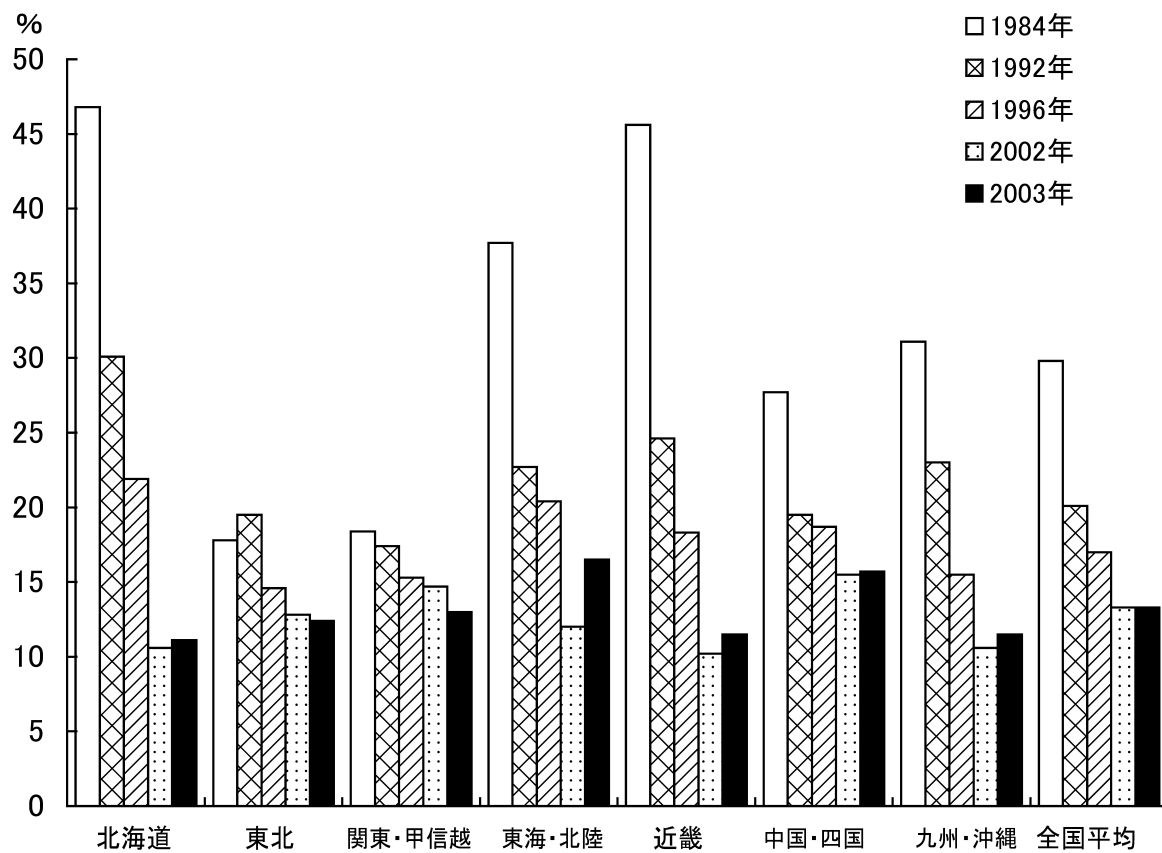
(注) '84年の「高コレステロール」ち「高中性脂肪」は、分けなくて高脂肪として統計をとったため、除外した。

17. 健常者頻度の地域差 —性別・年別比較—

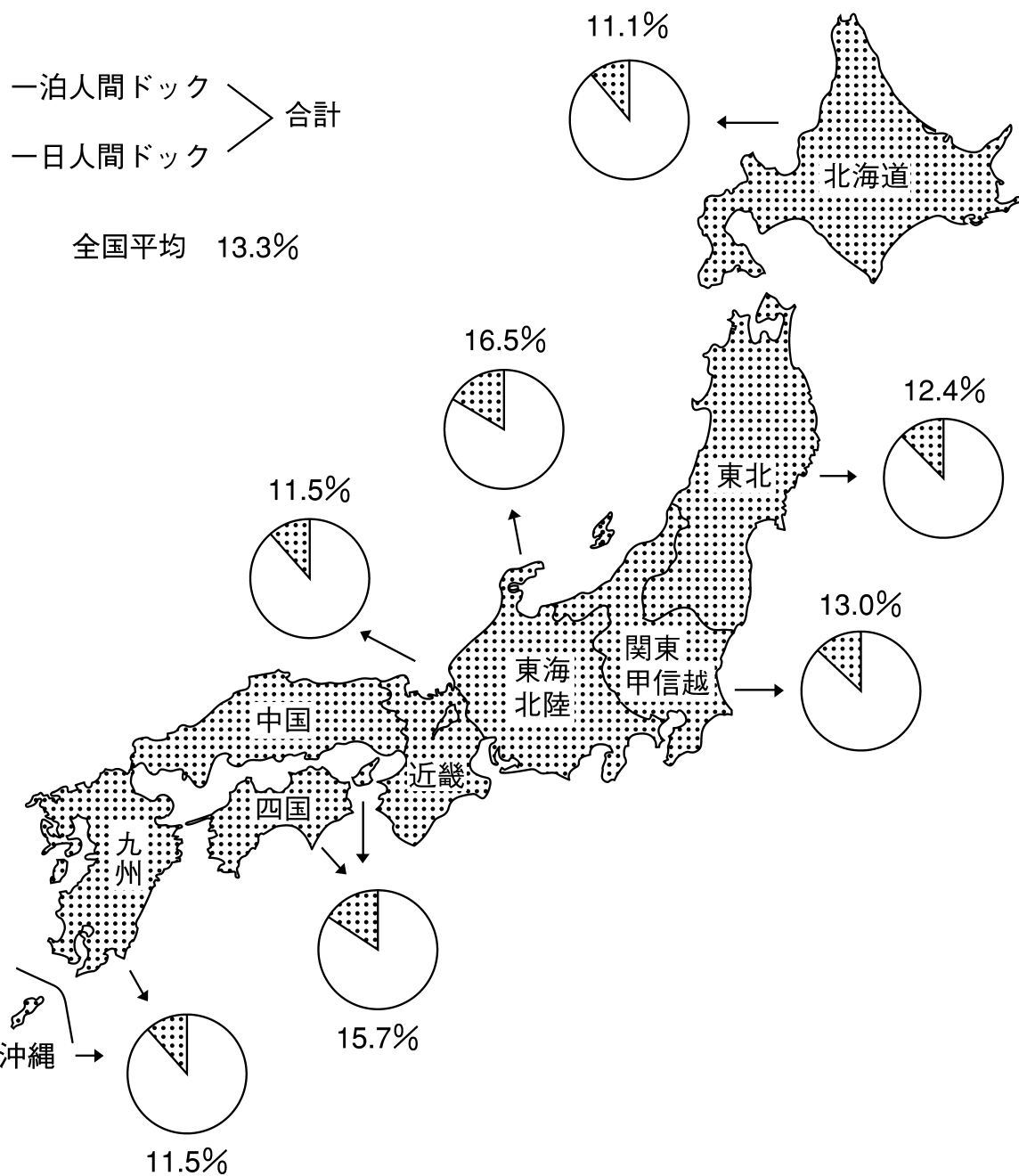
ブロック		男			女			計		
		名	%	名	%	名	%	名	%	
全国平均	84							123,198	413,748	29.8
	88	150,394	616,911	24.3	81,386	281,086	28.9	231,780	897,997	25.8
	92	203,547	1,097,366	18.5	133,894	573,810	23.3	337,441	1,671,176	20.1
	96	238,764	1,536,607	15.5	166,128	836,000	19.8	404,892	2,372,607	17.0
	02	209,847	1,788,602	11.7	166,639	1,051,099	15.9	376,486	2,839,701	13.3
	03	235,629	1,961,890	12.0	179,047	1,152,716	15.5	414,676	3,114,606	13.3
北海道	84							3,361	7,181	46.8
	88	4,235	13,715	30.8	1,410	3,405	41.4	5,645	17,120	32.9
	92	4,268	15,237	28.0	2,021	5,654	35.7	6,289	20,891	30.1
	96	8,391	44,178	18.9	5,476	18,937	28.9	13,867	63,115	21.9
	02	4,193	45,365	9.2	3,505	27,024	13.0	7,698	72,389	10.6
	03	4,554	45,242	10.1	3,433	26,840	12.8	7,987	72,082	11.1
東北	84							3,175	17,862	17.8
	88	5,186	30,921	16.7	3,325	14,281	23.2	8,511	45,202	18.8
	92	8,755	53,720	16.2	8,409	34,038	24.7	17,164	87,758	19.5
	96	7,386	60,138	12.2	6,268	33,035	18.9	13,654	93,173	14.6
	02	10,108	86,015	11.8	7,425	50,918	14.6	17,533	136,933	12.8
	03	9,024	92,151	9.8	9,598	57,683	16.6	18,622	149,834	12.4
関東 甲信越	84							29,720	161,685	18.4
	88	72,914	286,878	25.4	39,913	138,266	28.8	112,827	425,144	26.5
	92	80,141	497,917	16.0	54,170	270,115	20.0	134,311	768,032	17.4
	96	97,740	68,213	14.3	66,394	38,593	17.2	164,134	1,068,071	15.3
	02	109,997	826,548	13.3	86,202	504,477	17.1	196,199	1,331,025	14.7
	03	119,879	981,518	12.2	83,840	579,642	14.5	203,719	1,561,160	13.0
東海 北陸	84							38,644	102,550	37.7
	88	22,830	8,149	28.0	11,544	33,795	34.1	34,374	115,287	29.8
	92	44,652	210,474	21.2	26,636	102,984	25.8	71,288	313,458	22.7
	96	40,041	215,229	18.6	24,876	101,511	24.5	64,917	316,740	20.4
	02	29,668	284,875	10.4	20,749	135,271	15.3	50,417	420,146	12.0
	03	40,371	266,587	15.1	24,733	127,443	19.4	65,104	394,030	16.5
近畿	84							32,834	71,984	45.6
	88	21,509	93,351	23.0	12,709	42,464	29.9	34,218	135,815	25.1
	92	32,022	142,709	22.4	21,114	72,591	29.0	53,136	215,300	24.6
	96	41,687	251,887	16.5	29,702	137,848	21.5	71,389	389,735	18.3
	02	21,655	247,433	8.8	18,276	145,108	12.6	39,931	392,541	10.2
	03	25,275	263,491	9.6	23,691	161,983	14.6	48,966	425,474	11.5
中国 四国	84							6,864	24,822	27.7
	88	14,687	60,798	24.1	7,310	26,107	28.0	21,997	86,899	25.3
	92	19,114	111,499	17.1	13,836	57,434	24.0	32,950	168,933	19.5
	96	26,962	163,680	16.4	21,582	94,968	22.7	48,544	25,848	18.7
	02	22,646	167,683	13.5	19,156	101,970	18.8	41,802	269,653	15.5
	03	22,974	168,500	13.6	20,122	106,343	18.9	43,096	274,843	15.7
九州 沖縄	84							8,590	27,664	31.1
	88	9,033	49,756	18.0	5,175	22,774	22.7	14,208	72,530	19.5
	92	14,595	65,810	22.1	7,708	30,994	24.8	22,303	96,804	23.0
	96	16,557	119,361	13.8	11,830	63,764	18.5	28,387	183,125	15.5
	02	11,580	130,683	8.9	11,326	86,331	13.1	22,906	217,014	10.6
	03	13,552	144,401	9.4	13,630	92,782	14.7	27,182	237,183	11.5

(注) '84年は、男女別統計は実施せず。

18. 健常者頻度の地域差 一年別比較



19. 健常者頻度の地域差 (2003年)

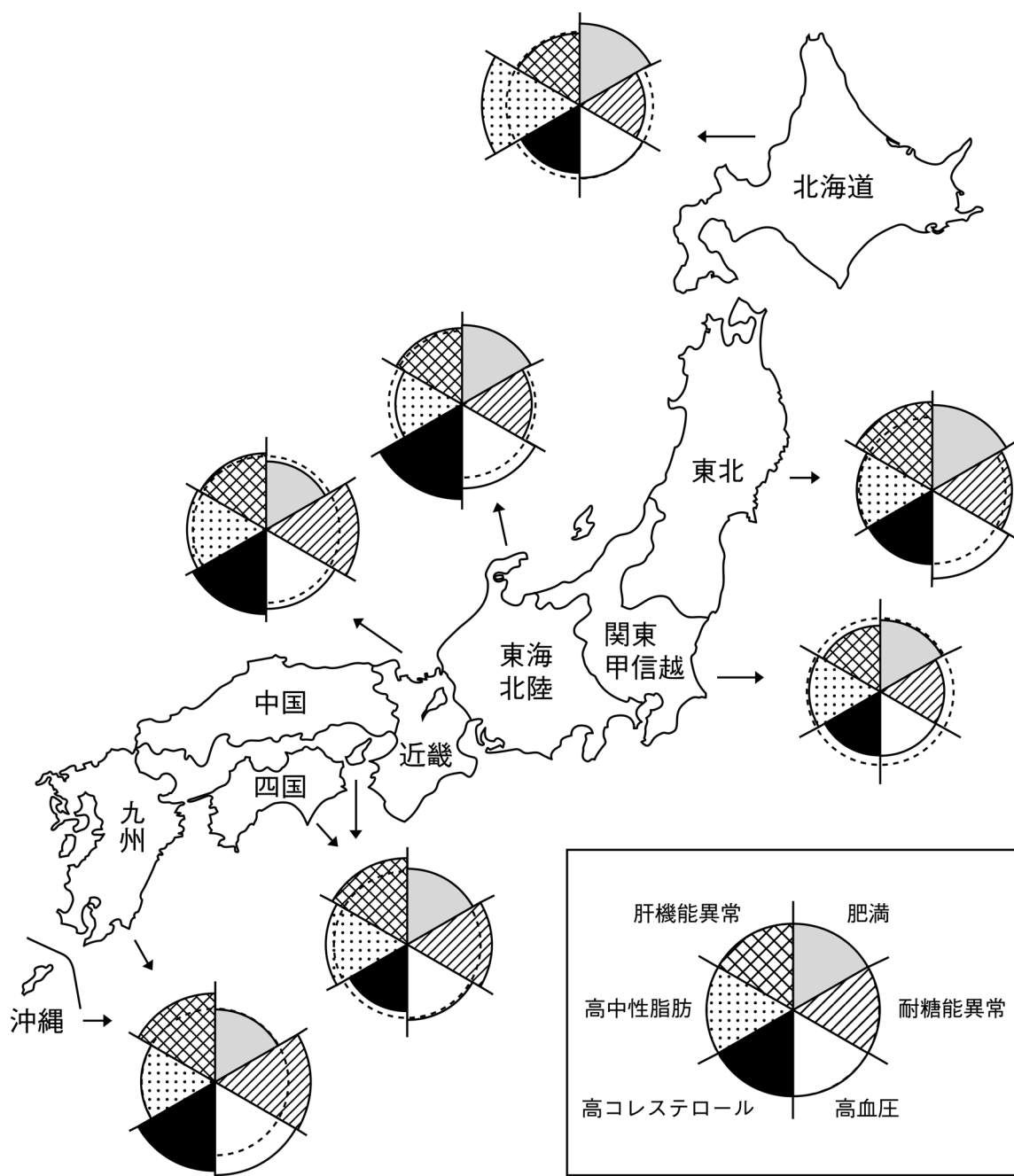


20. 6項目異常頻度の地域差（2003年）

	肥 満	耐糖能異常	高 血 圧	高コレステロール	高中性脂肪	肝機能異常	合 計
全 国 平 均	20.3%	11.8%	14.0%	23.9%	12.9%	24.7%	107.7%
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
北 海 道	22.6	10.5	13.9	22.1	17.2	24.2	110.4
	111.3	88.7	99.3	92.2	132.7	97.9	102.5
東 北	23.6	12.8	16.8	24.1	13.3	29.9	120.4
	116.4	108.1	120.2	100.5	102.6	120.6	111.8
関 東 甲 信 越	19.8	10.3	12.2	20.9	12.5	22.2	97.9
	97.4	87.0	87.6	87.1	96.6	89.8	90.9
東 海 北 陸	21.9	11.2	16.0	31.0	11.7	25.7	117.4
	108.0	94.6	114.7	129.3	90.5	103.8	109.0
近 畿	18.9	14.8	15.1	27.6	13.9	25.7	116.0
	92.9	125.4	108.2	115.3	107.5	104.0	107.7
中 国 四 国	21.0	13.6	14.3	21.7	14.3	29.1	114.1
	103.4	115.0	102.8	90.8	110.6	117.8	106.0
九 州 沖 縄	20.1	15.3	17.7	29.0	13.0	29.9	125.1
	99.0	129.9	127.1	121.2	100.4	120.8	116.1

(注) 全国平均値を100として、各ブロック別の%を表示。

21. 6項目異常頻度の地域差（2003年）



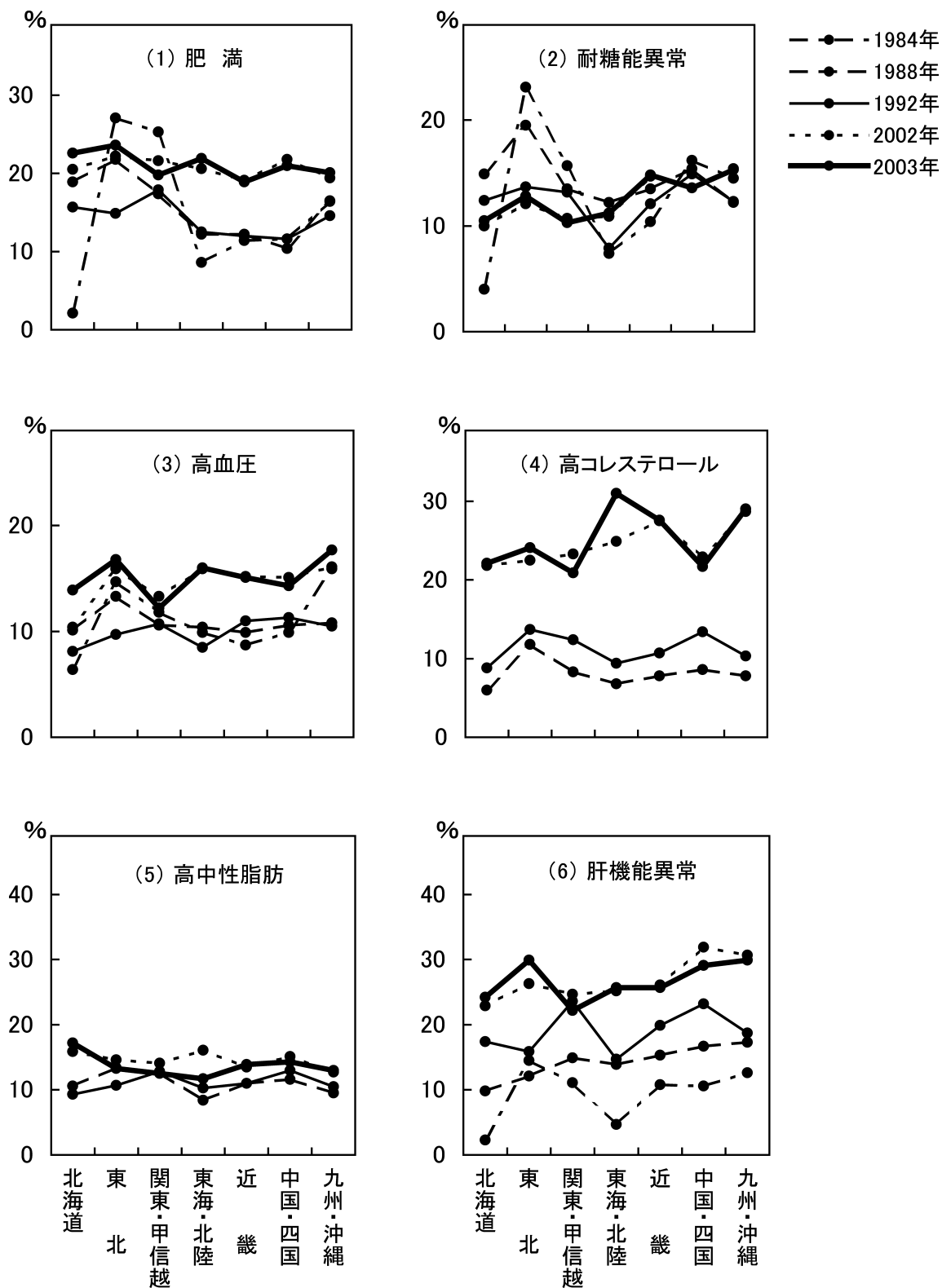
(注) 円グラフは6項目異常頻度の
 全国平均を100%として図示

22. 6項目異常頻度の地域差 一年別比較

		肥 満	耐糖能異常	高血圧	高コレステロール	高中性脂肪	肝機能異常	6項目合計
全国平均	84	17.0%	12.8%	11.0%			9.6%	
	88	15.4	13.6	10.6	8.1%	10.5%	15.0	74.2%
	92	15.2	12.3	10.3	11.7	11.9	20.7	82.1
	96	17.6	12.4	12.1	16.8	14.2	23.8	96.9
	02	21.0	11.9	14.4	24.4	14.3	26.1	112.2
	03	20.3	11.8	14.0	23.9	12.9	24.7	107.7
北海道	84	2.1	4.0	6.4			2.3	
	88	18.9	14.9	10.1	6.0	10.6	9.8	70.3
	92	15.7	12.4	8.1	8.8	9.3	17.4	71.7
	96	13.9	10.3	13.8	12.6	10.2	17.6	78.4
	02	20.5	10.0	10.4	21.8	15.9	22.9	101.5
	03	22.6	10.5	13.9	22.1	17.2	24.2	110.4
東 北	84	27.1	23.1	14.7			14.5	
	88	21.8	19.5	13.3	11.8	13.4	12.1	91.9
	92	14.9	13.7	9.7	13.7	10.7	15.9	78.6
	96	21.5	16.4	14.7	17.6	14.1	24.5	108.8
	02	22.2	12.1	15.9	22.5	14.6	26.3	113.6
	03	23.6	12.8	16.8	24.1	13.3	29.9	120.4
関 東 ・ 甲信越	84	25.3	15.7	11.8			11.1	
	88	17.4	13.5	10.6	8.3	12.6	14.9	77.3
	92	17.9	13.2	10.7	12.4	12.8	23.6	90.6
	96	20.0	12.4	11.7	17.4	15.1	25.4	102.0
	02	21.6	10.7	13.3	23.3	14.1	24.7	107.7
	03	19.8	10.3	12.2	20.9	12.5	22.2	97.9
東 海 ・ 東 北	84	8.6	7.4	9.9			4.7	
	88	12.2	12.2	10.4	6.8	8.4	13.9	63.9
	92	12.5	7.9	8.5	9.4	10.3	14.7	63.3
	96	16.7	9.5	12.0	15.7	13.6	20.8	88.3
	02	20.6	10.9	15.9	24.9	16.1	25.2	113.6
	03	21.9	11.2	16.0	31.0	11.7	25.7	117.4
近 畿	84	11.4	10.4	8.7			10.8	
	88	12.2	13.5	9.9	7.8	11.0	15.3	69.7
	92	12.0	12.1	11.0	10.7	11.0	19.9	76.7
	96	14.7	12.3	12.9	16.2	13.2	22.3	91.6
	02	19.1	14.7	15.2	27.5	13.5	26.1	116.0
	03	18.9	14.8	15.1	27.6	13.9	25.7	116.0
中 国 ・ 四 国	84	11.6	16.2	9.9			10.6	
	88	10.4	15.4	10.6	8.6	11.6	16.7	73.3
	92	11.6	14.9	11.3	13.4	13.0	23.2	87.4
	96	14.4	13.8	11.5	15.8	14.5	24.7	94.7
	02	21.8	13.6	15.1	22.9	15.1	31.9	120.3
	03	21.0	13.6	14.3	21.7	14.3	29.1	114.1
九 州 ・ 沖 縄	84	16.4	14.5	15.9			12.6	
	88	16.5	12.2	10.8	7.8	9.5	17.3	74.1
	92	14.6	12.3	10.5	10.3	10.5	18.7	76.9
	96	15.2	13.7	11.8	18.3	12.6	24.0	95.6
	02	19.4	15.4	16.1	28.7	12.7	30.7	123.0
	03	20.1	15.3	17.7	29.0	13.0	29.9	125.1

(注) '84年の「高コレステロール」と「高中性脂肪」は、分けないで高脂肪として統計をとったため、空欄とした。

23. 6項目異常頻度の地域差 —一年別比較—

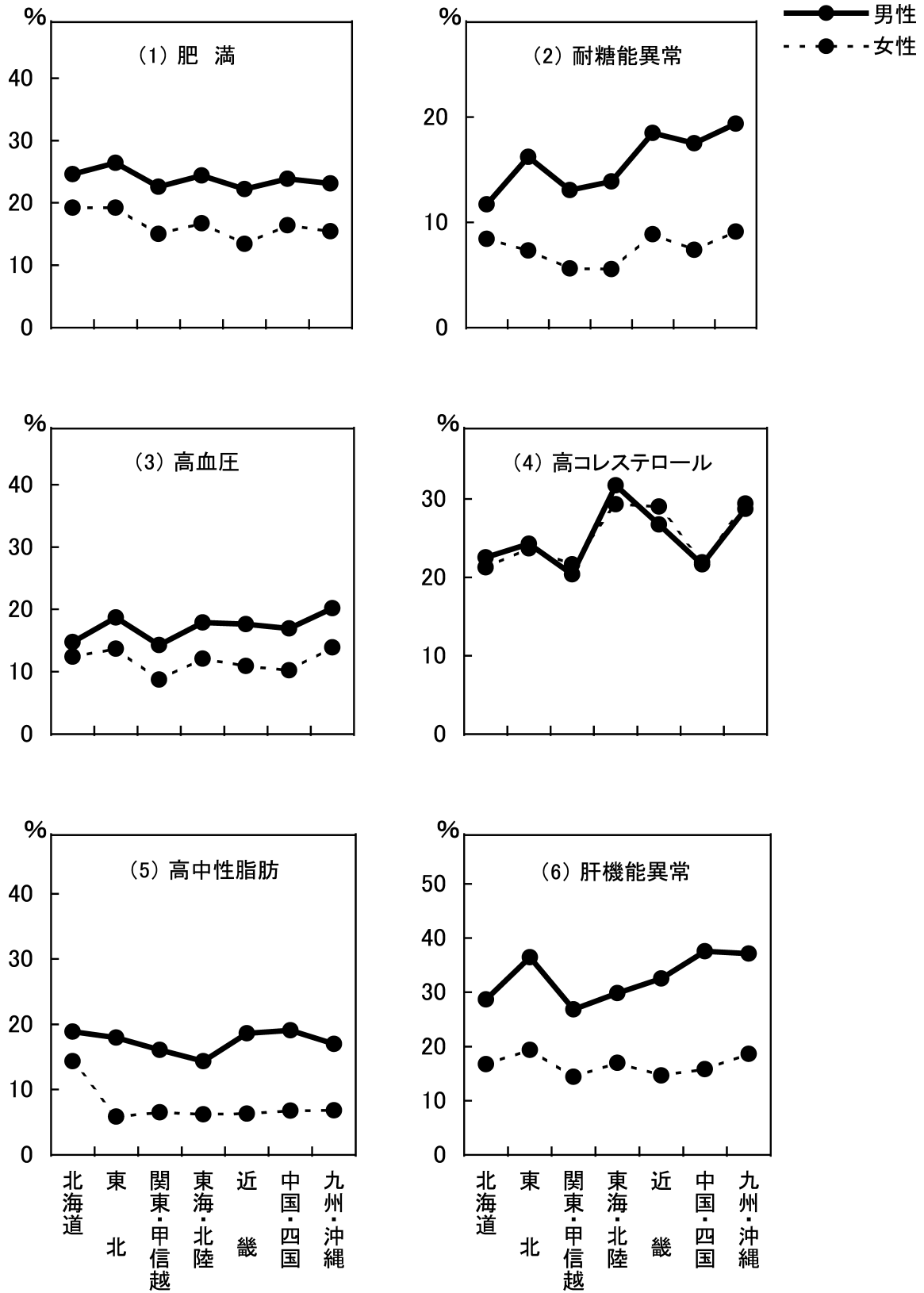


(注) '84年の「高コレステロール」と「高中性脂肪」は、分けなくて高脂肪として統計をとったため、空欄とした。

24. 6項目異常頻度の地域差 —性別比較— (2003年)

		肥 満	耐糖能異常	高血圧	高コレステ ロール	高中性脂肪	肝機能異常	6項目 合 計
全 国 平 均	男性	23.2%	14.8%	16.1%	23.7%	16.6%	30.2%	94.5%
	女性	15.4	6.7	10.3	24.3	6.7	15.5	63.3
北 海 道	男性	24.6	11.7	14.7	22.5	18.9	28.7	92.4
	女性	19.2	8.4	12.4	21.3	14.4	16.7	75.7
東 北	男性	26.4	16.2	18.7	24.3	17.9	36.4	103.5
	女性	19.2	7.3	13.7	23.7	5.9	19.3	69.8
関 東 甲 信 越	男性	22.6	13.0	14.3	20.4	16.1	26.8	86.3
	女性	15.0	5.6	8.7	21.7	6.5	14.4	57.5
東 海 北 陸	男性	24.4	13.9	17.9	31.7	14.3	29.9	102.2
	女性	16.7	5.5	12.1	29.3	6.2	17.0	69.9
近 畿	男性	22.2	18.5	17.7	26.7	18.6	32.6	103.7
	女性	13.4	8.9	10.9	29.0	6.3	14.6	68.5
中 国 四 国	男性	23.9	17.5	16.9	21.6	19.1	37.5	99.0
	女性	16.4	7.4	10.2	21.9	6.8	15.8	62.7
九 州 沖 縄	男性	23.1	19.3	20.2	28.7	17.0	37.1	108.4
	女性	15.4	9.1	13.9	29.4	6.8	18.6	74.6

25. 6項目異常頻度の地域差 —性別比較— (2003年)



26. 6項目異常頻度 —ブロック別・県別人数— (2003年)

	ブロック・ 県別 受診者数	肥 満	耐糖能異常	高 血 圧	高コレステ ロール血	高中性脂肪血	肝機能異常
全 国	3,114,606名	632,342名	367,920名	434,595名	745,598名	403,329名	770,735名
北海道	72,082	16,289	7,551	9,988	15,907	12,388	17,456
東 北	149,834	35,403	19,132	25,123	36,057	19,916	44,730
青森	10,131	1,987	889	1,811	1,467	959	3,351
岩手※	22,117	6,352	2,633	3,158	4,107	3,620	5,570
宮城	39,464	9,589	4,815	5,361	9,248	6,168	13,181
秋田	29,150	7,446	4,147	5,918	8,321	2,610	7,654
山形※	5,099	770	549	651	893	649	810
福島	43,873	9,259	6,099	8,224	12,021	5,910	14,164
関東・甲信越	1,561,160	308,645	160,441	190,727	325,639	195,388	346,915
茨城	105,546	25,671	10,681	12,935	21,475	13,202	23,158
栃木	36,162	7,961	5,564	5,729	8,554	7,217	9,460
群馬	57,486	12,767	10,803	9,342	13,209	10,065	18,966
埼玉	225,875	20,323	9,182	10,208	20,152	10,199	20,549
千葉	135,221	34,444	15,878	16,285	31,261	22,524	43,520
東京	621,710	134,666	66,205	80,501	142,615	84,450	142,622
神奈川	233,873	38,924	20,965	27,510	49,103	24,982	52,738
山梨	33,594	4,792	3,011	6,721	7,382	4,589	4,703
長野	38,983	9,916	8,199	7,680	7,571	6,498	9,070
新潟	72,710	19,181	9,953	13,816	24,317	11,662	22,129
東海・北陸	394,030	86,366	44,010	63,085	121,971	46,161	101,191
富山※	7,674	1,876	979	1,658	3,079	1,988	3,806
石川	16,046	6,129	2,706	2,555	5,933	2,426	4,290
福井	24,115	2,527	2,652	5,605	3,959	1,428	6,760
静岡	114,665	27,418	14,884	20,253	35,509	17,036	38,609
愛知	174,646	33,310	17,563	24,434	58,320	15,606	34,590
岐阜	32,770	9,030	2,943	4,645	8,220	3,747	7,374
三重	24,114	6,076	2,283	3,935	6,951	3,930	5,762
近畿	425,474	80,275	63,038	64,212	117,468	59,253	109,486
滋賀	11,610	2,701	1,534	2,254	2,663	1,666	3,399
京都	90,019	17,531	12,526	13,247	20,504	10,174	19,124
大阪	282,204	52,104	42,800	42,509	82,469	40,735	74,061
兵庫	32,616	5,854	5,074	4,538	9,301	5,036	9,137
奈良※	2,398	964	304	368	527	550	1,916
和歌山※	6,627	1,121	800	1,296	2,004	1,092	1,849
中国・四国	274,843	57,675	37,346	39,410	59,761	39,377	80,085
鳥取※	6,864	2,319	612	1,033	1,614	1,131	1,112
島根※	5,369	1,901	856	1,160	1,416	1,231	2,551
岡山	88,709	17,923	9,036	12,696	17,987	12,110	24,116
広島	80,364	16,325	9,814	10,138	17,257	10,955	23,830
山口	22,223	3,420	3,232	2,728	6,350	3,654	6,403
徳島※	19,603	3,975	2,828	2,375	5,659	3,578	5,719
香川	6,567	2,181	1,875	1,253	1,898	1,351	2,123
愛媛	15,912	2,158	3,405	2,458	1,114	1,021	5,735
高知	29,232	7,473	5,688	5,569	6,466	4,346	8,496
九州・沖縄	237,183	47,689	36,402	42,050	68,795	30,846	70,872
福岡	119,546	24,635	14,015	14,790	31,059	15,628	38,019
佐賀※	93	26	24	21	29	17	23
長崎※	1,967	503	70	429	302	233	469
熊本	35,812	5,549	10,737	8,438	9,999	7,946	9,295
大分	43,589	5,608	6,576	11,401	15,847	1,937	11,381
宮崎※	8,825	2,694	365	1,360	3,950	1,903	2,120
鹿児島※	12,095	2,613	2,414	2,736	3,556	254	2,659
沖縄	15,256	6,061	2,201	2,875	4,053	2,928	6,906

(注) 1. 受診者10,000名以下は※。
 2. 全国的に受診者数のバラツキが大きく、都道府県順位別比較は必ずしも健康度の評価し一致しないので参考資料にとどめていただきたい。

27. 6項目異常頻度 —ブロック別・県別比較— (2003年)

	肥 満	耐糖能異常	高 血 圧	高コレステ ロール血	高中性脂肪血	肝機能異常	6項目合計
全 国	20.3%	11.8%	14.0%	23.9%	12.9%	24.7%	107.7%
北 海 道	22.6	10.5	13.9	22.1	17.2	24.2	110.4
東 北	23.6	12.8	16.8	24.1	13.3	29.9	120.4
青 森 ※	19.6	8.8	17.9	14.5	9.5	33.1	103.3
岩 手 ※	28.7	11.9	14.3	18.6	16.4	25.2	115.0
宮 城	24.3	12.2	13.6	23.4	15.6	33.4	122.5
秋 田	25.5	14.2	20.3	28.5	9.0	26.3	123.8
山 形 ※	15.1	10.8	12.8	17.5	12.7	15.9	84.8
福 島	21.1	13.9	18.7	27.4	13.5	32.3	126.9
関 東・甲 信 越	19.8	10.3	12.2	20.9	12.5	22.2	97.9
茨 城	24.3	10.1	12.3	20.3	12.5	21.9	101.5
栃 木	22.0	15.4	15.8	23.7	20.0	26.2	123.0
群 馬	22.2	18.8	16.3	23.0	17.5	33.0	130.7
埼 玉	9.0	4.1	4.5	8.9	4.5	9.1	40.1
千 葉	25.5	11.7	12.0	23.1	16.7	32.2	121.2
東 京	21.7	10.6	12.9	22.9	13.6	22.9	104.7
神 奈 川	16.6	9.0	11.8	21.0	10.7	22.5	91.6
山 梨	14.3	9.0	20.0	22.0	13.7	14.0	92.9
長 野	25.4	21.0	19.7	19.4	16.7	23.3	125.5
新 潟	26.4	13.7	19.0	33.4	16.0	30.4	139.0
東 海・北 陸	21.9	11.2	16.0	31.0	11.7	25.7	117.4
富 山 ※	24.4	12.8	21.6	40.1	25.9	49.6	174.4
石 川	38.2	16.9	15.9	37.0	15.1	26.7	149.8
福 井	10.5	11.0	23.2	16.4	5.9	28.0	95.1
静 岡	27.6	9.0	14.2	25.1	11.4	22.5	109.7
愛 知	23.9	13.0	17.7	31.0	14.9	33.7	134.1
岐 阜	19.1	10.1	14.0	33.4	8.9	19.8	105.3
三 重	25.2	9.5	16.3	28.8	16.3	23.9	120.0
近 畿	18.9	14.8	15.1	27.6	13.9	25.7	116.0
滋 賀	23.3	13.2	19.4	22.9	14.3	29.3	122.5
京 都	19.5	13.9	14.7	22.8	11.3	21.2	103.4
大 阪	18.5	15.2	15.1	29.2	14.4	26.2	118.6
兵 庫	17.9	15.6	13.9	28.5	15.4	28.0	119.4
奈 良 ※	40.2	12.7	15.3	22.0	22.9	79.9	193.0
和 歌 山 ※	16.9	12.1	19.6	30.2	16.5	27.9	123.2
中 国・四 国	21.0	13.6	14.3	21.7	14.3	29.1	114.1
鳥 取 ※	33.8	8.9	15.0	23.5	16.5	16.2	113.9
島 根 ※	35.4	15.9	21.6	26.4	22.9	47.5	169.8
岡 山	20.2	10.2	14.3	20.3	13.7	27.2	105.8
広 島	20.3	12.2	12.6	21.5	13.6	29.7	109.9
山 口	15.4	14.5	12.3	28.6	16.4	28.8	116.0
徳 島 ※	20.3	14.4	12.1	28.9	18.3	29.2	123.1
香 川	33.2	28.6	19.1	28.9	20.6	32.3	162.6
愛 媛	13.6	21.4	15.4	7.0	6.4	36.0	99.9
高 知	25.6	19.5	19.1	22.1	14.9	29.1	130.1
九 州・沖 縄	20.1	15.3	17.7	29.0	13.0	29.9	125.1
福 岡	20.6	11.7	12.4	26.0	13.1	31.8	115.6
佐 賀 ※	28.0	25.8	22.6	31.2	18.3	24.7	150.5
長 崎 ※	25.6	3.6	21.8	15.4	11.8	23.8	102.0
熊 本	15.5	30.0	23.6	27.9	22.2	26.0	145.1
大 分	12.9	15.1	26.2	36.4	4.4	26.1	121.0
宮 崎 ※	30.5	4.1	15.4	44.8	21.6	24.0	140.4
鹿 児 島 ※	21.6	20.0	22.6	29.4	2.1	22.0	117.7
沖 縄	39.7	14.4	18.8	26.6	19.2	45.3	164.0

(注) 受診者10,000名以下は※。

人間ドックの検査項目別統計（1～27）

- 1.～2. 2003年の人間ドックについて、各検査項目ごとの判定別集計成績を年代別に示した総合成績表です。更に年別の比較も行いました。
3. A+B（異常なし）は加齢と共に減少し、全平均13.3%と前年と同率になりました。従って人間ドック受診者の86.7%に何等かの異常を認めたことになります。
異常頻度は加齢と共に上昇し、C（要経過観察）が過半数を示しています。
（注） 異常頻度は項目別異常の合計なので、複合のケースが多いために100%を越えています。
4. アンケート調査による受診者の年代別傾向をみると、今回も50歳代>40歳代>30歳代>60歳以上の順で前年とほぼ同じ傾向です。年別の比較では、1996年以後は40歳代と50歳代が逆転し、さらに60歳以上の受診者の割合が増えています。
5. 年代別の判定別集計について、年ごとに比較をしました。異常のない人は各年代共にほぼ同じ傾向で加齢と共に低下し、今回は前年と同じ傾向を示しています。異常者は前年に比しD₁D₂が同じ傾向で、C（生活習慣病予備軍）は各年代共に前年より低下傾向を示しています。
- 6.～8. 年代別健全者頻度を性別で比較すると、各年代共に男性より女性の割合が高く、全平均では3.5%の隔差があります。
年代別異常頻度を性別に比較すると、各年代共に男性より女性の割合が低い傾向を示していますが、前年より男性はやや改善傾向を示しています。
- 9.～10. 項目別に異常頻度を比較すると、前年と同様に肝機能異常が24.7%と最も高く、次いで高コレステロール、肥満、腎・膀胱疾患、高血圧、高中性脂肪、耐糖能異常の順です。
更に性別の比較を行ってみますと、男性では肝機能異常が30.6%と高く、次いで高コレステロール、肥満、高中性脂肪、高血圧、耐糖能異常の順です。
一方、女性では高コレステロールが最も高く24.5%を占め、次いで、肝機能異常、肥満、腎・膀胱疾患、血液疾患、高血圧、胆石・胆のうポリープの順で、男性と順位が異なっています。男性より異常頻度の高い項目は、腎・膀胱疾患と貧血のみです。
- 11.～12. ライフスタイルに関連の深い6項目（腎・膀胱疾患を除く）について、年代別の比較を行いました。肝機能異常、高中性脂肪は50歳代をピークとして60歳以上は下降傾向を示しており、肥満は40歳代以上で横ばいです。高コレステロール、高血圧と耐糖能異常は加齢と共に上昇傾向を示しています。
13. 6項目異常頻度を年別に比較してみますと、増加の著しかった肝機能異常と高コレステロールに歯止めがかかり、その他の4項目も前年とほぼ横ばいです。
- 14.～15. 6項目異常頻度を年代別・性別に比べますと、前年とほぼ同じパターンを示しています。

高コレステロールは、50歳代以後に女性の異常率が急上昇して、男性と逆転していますが、その他の5項目では、各年代共に男性の異常頻度が女性より高くなっています。

また、女性は加齢と共に異常頻度が上昇しますが、男性は耐糖能異常と高血圧以外は、いずれも40～50歳代以降は下降傾向を示しています。

16. 年代別にみた6項目異常頻度について年別に比較しました。各年共に同じパターンを示しています。肝機能異常と高中性脂肪は50歳代をピークとして以後下降傾向で、これら2項目はいずれも各年代共に前年よりやや低値を示しています。その他の項目は、各年代共に前年とほぼ同率です。

17.～18. 健常者頻度の地域差を年別に比較しますと、頻度の高かった北海道、東海・北陸、近畿の地域で下降傾向が顕著でしたが、ようやく歯止めがかかり、特に東海・北陸地方は改善傾向を認めました。その他の地方は横ばいですが関東・甲信越地方のみ微減しています。

19. 健常者頻度の地域差をみますと、全国平均13.3%を上回っている地域は、東海・北陸、中国・四国地方のみです。

20.～21. 6項目異常頻度の地域差を比較しますと、6項目異常合計で全国平均を下回っている地域は、関東・甲信越のみです。

22.～23. 6項目異常頻度の年別比較では、6項目ともほぼ同じパターンを示しています。

東日本と西日本で二峰性を示す項目は、肥満、耐糖能異常、肝機能異常ですが、近年は地域差が減少しています。また、今回のパターンは、前年とほぼ同じ傾向を示しています。

24.～25. 6項目異常頻度の地域差を性別で比較してみますと、高コレステロールのみ性差が明らかではありません。その他の5項目はいずれの地域でも男性より女性が低く、また男女の地域差のパターンも同じ傾向を示しています。

26.～27. 6項目異常項目について、ブロック別、都道府県別に人数および異常頻度を一括表示しました。6項目合計の全国平均値は107.7で前年よりやや低下、しかし110以上の健康度の悪い県は32県で、前年と同数です。

ただし、都道府県別の受診者数のバラツキが大きいので、必ずしも健康度の評価と一致いたしません。したがって、参考資料にとどめてください。

まとめと今後の目標

■人間ドック・健診の現況と質の向上をめざして

平成15年（2003年）の日本病院会・人間ドック指定病院および指定施設の現況について、調査結果を報告しました。

21世紀は予防医学の時代と言われていますが、一泊人間ドック指定病院数は628、一日人間

ドック指定施設数は292と共に増加をしています。それに伴い各種人間ドックは前年より増加傾向がみられ、総合すると前年より10万人増えて約336万人に達しています。更に生活習慣病健診と一般健診を加えると約1,327万人が受診したことになり、前年より約7万人の増加です。

今後、更に人間ドック実施病院・施設数の増加、それに伴い受診者数も増えることが予想されます。数の増加が質の低下につながらないように、日本病院会は本年9月より「人間ドック機能評価機構」を発足の予定です。

内容の濃い人間ドック・健診の普及が、国民の健康増進に役立つことを期待しております。

■人間ドックの癌統計—増えている前立腺癌・乳癌—

人間ドックで発見される癌のトップは胃癌であり、次いで大腸癌です。両方を合すると19年前は全発見癌の約70%を占めていましたが、今回の調査では約18%低下しています。

その理由は、男性では前立腺癌の増加であり、女性では乳癌が著しく増えたためです。

その対策としては、50歳以上の男性に対してPSA検査、40歳以上の女性に対する乳房エコー検査やマンモグラフィーを基本検査項目に導入する必要があります。

人間ドックで最も発見頻度の高い胃と大腸癌については、早期癌の占める割合が80%前後です。治療方法も特に大腸癌は内視鏡的切除が年々増加しており、二次予防の有用性が実証されています。

今後は、PET、CT、MRIと各種腫瘍マーカーによる多臓器総合診断を目的とする「癌専門ドック」が普及して行くと思われます。

人間ドックの検査項目別統計—健康度悪化がストップ—

1984年に人間ドックの全国集計を始めて驚いたことは、狭い日本の中で健康度の地域差が大きいことでした。その後20年間の経年変化をみますと、地域差が次第に縮小してきました。その理由は、かつて健康度の良いと言われていた地域が次第に悪化の傾向をたどり、地域特性が失われてしまったことです。

その結果、働き盛りの日本人の健康度は年々悪くなり、健常者が人間ドック受診者全体に占める割合は1984年の29.8%から2003年は13.3%（前年と同率）と、16.5%も減ってしまいました。

特にライフスタイルに関係の深い6項目（肥満、耐糖能異常、高血圧、高コレステロール、高中性脂肪、肝機能異常）が、いずれも異常頻度が増加傾向を示していました。しかし、今回の調査ではやや歯止めがかかったようで前年に比し肥満、高中性脂肪、肝機能異常は各年代共にやや改善しています。

健康度悪化の理由としては、次の4項目が考えられます。

1. 生活習慣の欧米化

外食産業やコンビニエンス・ストアの普及により、手づくりの家庭料理を作る頻度が減少しています。結果として和食中心から、洋食や中華風の料理など嗜好が多様化し、食物の中に占める脂肪の割合が25%を越すようになったためです。

2. 専門学会による病態識別値の採用

近年、相次いで日本動脈硬化学会、日本高血圧学会、日本糖尿病学会、日本肥満学会、日本痛風・尿酸代謝学会などが、検査値のガイドラインを発表しました。その基準値は国際学会との共通化をめざしたために、従来の我が国独自の基準範囲より厳しくなっています。

3. 人間ドック反復受診者の増加による加齢の影響

人間ドックの普及に伴い、全国調査によれば反復受診者の割合は全受診者の70~80%を占めるようになりました。その結果、人間ドック受診者の平均年齢が40歳代から50歳代へと移行し、さらに60歳以上の受診者が増えつつあります。

4. 社会環境の悪化

バブル社会の崩壊により、大企業や銀行関係の倒産が発生し、サラリーマンのリストラや出向、単身赴任が増えています。その余波は中小企業にも及び、経済はデフレ化の傾向が進展しています。このような社会環境の変化は、有形・無形に心のバランスを失い、ストレスが生活習慣を悪化させる原因となっている人が増えています。

■健康度アップ戦略

20世紀の人間ドックを総括すると、二次予防としての癌検診は成果を挙げることが出来ました。しかし、生活習慣病発症に関連した検査の異常頻度は年々悪化しています。

その理由は前記の通りに種々考えられますが、なんと言っても最大のポイントは、人間ドック受診者自身による生活習慣の改革が殆ど失敗に終わったことです。21世紀型の人間ドックは、早期発見・早期治療の二次予防から、生活習慣改善のための一次予防中心へと変化しなければなりません。

そのためには、検査のための時間と同じ位の割合で健康教育や生活指導を充実させる必要があります。そこで人間ドック担当医によるライフスタイル症候群（生活習慣関連6項目）を中心とした**健康度アップ戦略**（図1）を紹介します。

人間ドック受診者の診療の際には、単なる打診・聴診・触診のほかに問診が重要です。

問診票の従来形式は、臨床で使用している疾患別の問診項目が過半数が占めていましたが、検査で分かる質問は省略します。そして、限られた時間内の問診ですから、生活習慣とストレス・チェックに重点を置きます。

ストレス・テストは、性格、行動パターン、社会的適応状況などを確認します。そして検査成績の中から、特に生活習慣関連項目に的を絞り、問診内容と総合して個別化した総合健康評価を致します。

今までは、ここまでの説明と同意（informed consent）で終わっていましたが、今後は双方向の同意（interactive consent）が必要で、受診者の質問を積極的に受け入れる姿勢で対応することが求められています。

そして最後に受診者自身の意志に基づいた選択（informed choice）が行われることにより、悪い生活習慣に対する行動変容の実行がより成果を挙げることが出来るのです。勿論、受診者のフォロー・アップを充実し、繰り返し行動変容の状況を確認することが重要であることは言うまでもありません。

21世紀の医療改革は、治療から予防へ視点を変えることが提唱されています。

そして、厚生労働省は「健康日本21」の理念として、

1. 壮年期死亡の減少
2. 健康寿命の延伸

を挙げています。

21世紀の人間ドックは、上記の理念を実証することが主題であり、予防医学から健康医学の確立とその方向に基づいた「人間ドック医療」の実践を普及しなければなりません。

図1 健康度アップ戦略

